

# 平成27年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	宮城県		市町村類型	II - 1		指定団体等の指定状況		区分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)																																																																																																																																																																																								
						財政健全化等	×	歳入総額	4,587,527	4,524,248	実質収支比率	5.5	6.6																																																																																																																																																																																										
市町村名	大衡村		地方交付税種地	2-3		財源超過	×	歳出総額	4,338,691	4,335,925	経常収支比率	87.1	90.7																																																																																																																																																																																										
						首都	×	歳入歳出差引	248,836	188,323	(※1)	(93.1)	(97.2)																																																																																																																																																																																										
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	113,464	29,736	標準財政規模	2,444,674	2,395,652																																																																																																																																																																																										
						中部	×	実質収支	135,372	158,587	財政力指数	0.68	0.67																																																																																																																																																																																										
人口	27年国調(人)	5,703	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	-23,215	-9,441	公債費負担比率	9.9	10.5																																																																																																																																																																																											
	22年国調(人)	5,334			山振	×	積立金	30,841	30,811	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																																																											
	増減率(%)	6.9			低開発	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																											
住民基本台帳人口(※7)	28.01.01(人)	5,838	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	30,000	120,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	5,781		第1次	379	477	指数表選定	○	実質単年度収支	-22,374	-98,630	実質公債費比率	9.5	9.5																																																																																																																																																																																									
	27.01.01(人)	5,771	第2次	14.3	16.4			基準財政収入額	1,291,937	1,258,710	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	5,718		748	865			基準財政需要額	1,896,297	1,845,944																																																																																																																																																																																													
	増減率(%)	1.2	第3次	28.3	29.7			標準税収入額等	1,676,394	1,645,146																																																																																																																																																																																													
	うち日本人(%)	1.1		1,517	1,549			経常経費充当一般財源等	2,196,415	2,212,676																																																																																																																																																																																													
面積(km <sup>2</sup> )	60.32		57.4	53.3			歳入一般財源等	3,370,796	3,226,049																																																																																																																																																																																														
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	95																																																																																																																																																																																																						
世帯数(世帯)	1,755																																																																																																																																																																																																						
職員の状況																																																																																																																																																																																																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	3,440,148	3,438,373	うち公的資金	3,061,650	3,015,812																																																																																																																																																																																									
	市区町村長	1	7,630		一般職員	74	204,610	2,765	債務負担行為額(支出予定額)	185,781	353,558	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																									
	副市区町村長	1	5,870		うち消防職員	-	-	-	土地開発基金現在高	225,444	225,389	積立金現在高	201,752	300,727	財政調整基金	1,046,431	955,590																																																																																																																																																																																						
	教育長	1	5,020		うち技能労務職員	2	*	*	減債基金	201,752	300,727	その他特定目的基金	974,723	1,056,511																																																																																																																																																																																									
	議会議長	1	2,670		教育公務員	-	-	-																																																																																																																																																																																															
	議会副議長	1	2,170		臨時職員	-	-	-																																																																																																																																																																																															
	議会議員	12	2,040		合計	74	204,610	2,765																																																																																																																																																																																															
						ラスパイレス指数			92.7																																																																																																																																																																																														
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険事業勘定特別会計</td> <td>(5)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(6)</td> <td>下水道事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>黒川地域行政事務組合(一般会計)</td> <td>(19)</td> <td>株式会社万葉まちづくりセンター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>介護保険事業勘定特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(7)</td> <td>戸別合併処理浄化槽特別会計</td> <td>(10)</td> <td>黒川地域行政事務組合(介護事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>宅地造成事業特別会計</td> <td>(11)</td> <td>黒川地域行政事務組合(病院事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>吉田川流域溜池大和町2市4ヶ町村組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>大衡村外1町牛野ダム管理組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>色麻町外1市1ヶ村花川ダム管理組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>宮城県市町村職員退職手当組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>宮城県市町村自治振興センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>宮城県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業勘定特別会計	(5)	水道事業会計	(6)	下水道事業特別会計	(9)	黒川地域行政事務組合(一般会計)	(19)	株式会社万葉まちづくりセンター							(3)	介護保険事業勘定特別会計			(7)	戸別合併処理浄化槽特別会計	(10)	黒川地域行政事務組合(介護事業会計)									(4)	後期高齢者医療特別会計			(8)	宅地造成事業特別会計	(11)	黒川地域行政事務組合(病院事業会計)															(12)	吉田川流域溜池大和町2市4ヶ町村組合															(13)	大衡村外1町牛野ダム管理組合															(14)	色麻町外1市1ヶ村花川ダム管理組合															(15)	宮城県市町村職員退職手当組合															(16)	宮城県市町村自治振興センター															(17)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合															(18)	宮城県後期高齢者医療広域連合							
	一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																																
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)																																																																																																																																																																																								
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業勘定特別会計	(5)	水道事業会計	(6)	下水道事業特別会計	(9)	黒川地域行政事務組合(一般会計)	(19)	株式会社万葉まちづくりセンター																																																																																																																																																																																												
		(3)	介護保険事業勘定特別会計			(7)	戸別合併処理浄化槽特別会計	(10)	黒川地域行政事務組合(介護事業会計)																																																																																																																																																																																														
		(4)	後期高齢者医療特別会計			(8)	宅地造成事業特別会計	(11)	黒川地域行政事務組合(病院事業会計)																																																																																																																																																																																														
								(12)	吉田川流域溜池大和町2市4ヶ町村組合																																																																																																																																																																																														
								(13)	大衡村外1町牛野ダム管理組合																																																																																																																																																																																														
								(14)	色麻町外1市1ヶ村花川ダム管理組合																																																																																																																																																																																														
								(15)	宮城県市町村職員退職手当組合																																																																																																																																																																																														
								(16)	宮城県市町村自治振興センター																																																																																																																																																																																														
								(17)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合																																																																																																																																																																																														
								(18)	宮城県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																																																														

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。

※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,479,000	32.2	1,479,000	62.7	普通税	1,479,000	100.0	-	
地方譲与税	43,335	0.9	43,335	1.8	法定普通税	1,479,000	100.0	-	
利子割交付金	711	0.0	711	0.0	市町村民税	325,610	22.0	-	
配当割交付金	1,613	0.0	1,613	0.1	個人均等割	9,122	0.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	1,666	0.0	1,666	0.1	所得割	172,968	11.7	-	
地方消費税交付金	136,261	3.0	136,261	5.8	法人均等割	44,316	3.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	16,461	0.4	16,461	0.7	法人税割	99,204	6.7	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,079,006	73.0	-	
自動車取得税交付金	10,397	0.2	10,397	0.4	うち純固定資産税	1,078,530	72.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	16,041	1.1	-	
地方特例交付金	4,250	0.1	4,250	0.2	市町村たばこ税	58,343	3.9	-	
地方交付税	978,613	21.3	604,360	25.6	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	604,360	13.2	604,360	25.6	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	186,192	4.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	188,061	4.1	-	-	目的税	-	-	-	
(一般財源計)	2,672,307	58.3	2,298,054	97.4	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	1,617	0.0	1,617	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	1,881	0.0	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	75,753	1.7	-	-	都市計画税	-	-	-	
手数料	15,881	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	537,272	11.7	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	28,205	0.6	28,205	1.2	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	239,040	5.2	-	-	合計	1,479,000	100.0	-	
財産収入	99,547	2.2	30,760	1.3					
寄附金	2,638	0.1	-	-					
繰入金	420,008	9.2	-	-					
繰越金	98,323	2.1	-	-					
諸収入	88,955	1.9	71	0.0					
地方債	306,100	6.7	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	163,900	3.6	-	-					
歳入合計	4,587,527	100.0	2,358,707	100.0					

区分	平成27年度	平成26年度
徴収率(%)	99.4	94.9
現年計	99.3	95.9
合計	99.4	94.7
市町村民税	99.3	95.9
純固定資産税	99.4	94.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	501,489	実質収支	35,992
下水道	167,548	再差引収支	32,573
病院	60,340	加入世帯数(世帯)	695
宅地造成	5,765	被保険者数(人)	1,276
上水道	2,874	被保険者1人当り	95
国民健康保険	41,631	保険税(料)収入額	121
その他	223,331	国庫支出金	263
		保険給付費	

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	86,503	2.0	-	86,503	
総務費	684,432	15.8	11,760	632,549	
民生費	736,825	17.0	-	427,242	
衛生費	409,290	9.4	-	391,483	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	152,931	3.5	853	65,849	
商工費	188,197	4.3	-	111,835	
土木費	920,094	21.2	344,372	492,254	
消防費	129,077	3.0	-	126,968	
教育費	514,836	11.9	179,025	386,589	
災害復旧費	172,341	4.0	-	67,253	
公債費	344,165	7.9	-	333,435	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	4,338,691	100.0	536,010	3,121,960	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,364,302	31.4	1,064,357	1,061,511	42.1
人件費	606,735	14.0	595,824	593,262	23.5
うち職員給	339,451	7.8	332,372	-	-
扶助費	413,402	9.5	135,098	134,814	5.3
公債費	344,165	7.9	333,435	333,435	13.2
元利償還金	344,165	7.9	333,435	333,435	13.2
うち元金	304,325	7.0	293,595	293,595	11.6
うち利子	39,840	0.9	39,840	39,840	1.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	2,266,038	52.2	1,730,717	1,134,904	45.0
物件費	632,070	14.6	541,764	468,206	18.6
維持補修費	90,790	2.1	60,357	60,357	2.4
補助費等	703,804	16.2	596,240	300,850	11.9
うち一部事務組合負担金	345,765	8.0	345,765	167,507	6.6
繰出金	438,275	10.1	312,799	305,491	12.1
積立金	172,742	4.0	159,311	-	-
投資・出資金・貸付金	228,357	5.3	60,246	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	708,351	16.3	326,886	-	-
うち人件費	7,597	0.2	7,597	-	-
普通建設事業費	536,010	12.4	259,633	-	-
うち補助	206,253	4.8	3,276	-	-
うち単独	329,757	7.6	256,357	-	-
災害復旧事業費	172,341	4.0	67,253	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	4,338,691	100.0	3,121,960	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成27年度 宮城県大衡村

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 一般会計 and a total row.

\*一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Rows include various public enterprise accounts and a total row.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Rows include various regional cooperation organizations and a total row.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの買付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 株式会社万葉まづくりセンター and a total row.

\*地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

\*地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

Table showing public debt fee burden status with columns: 区分, 平成25年度, 平成26年度, 平成27年度, 分母比. Includes sub-sections for interest and principal repayment.

将来負担の状況

Table showing future liability status with columns: 区分, 平成25年度, 平成26年度, 平成27年度, 分母比. Includes sub-sections for general account and public enterprise debt.

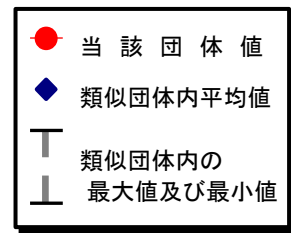
Table for health assessment ratios with columns: 健全化判断比率, 平成27年度, 早期健全化基準, 財政再生基準. Rows include 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率.



# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

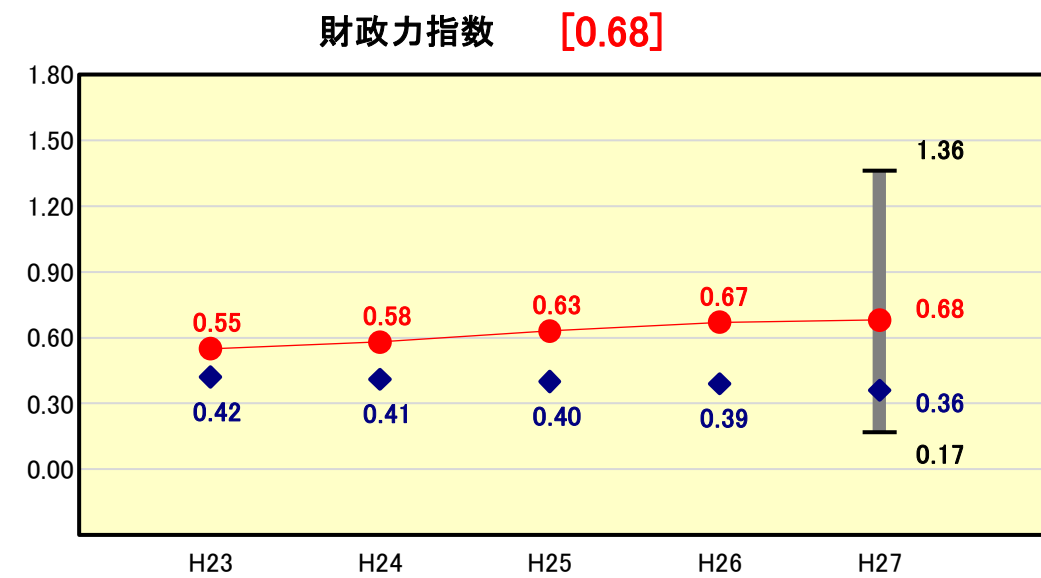
平成27年度 宮城県大衡村

人口	5,838	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	5,781	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	60.32	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.5	%
歳入総額	4,587,527	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,338,691	千円	市町村類型	H23 II-2 H24 II-2 H25 II-2	
実質収支	135,372	千円	(年度毎)	H26 II-2 H27 II-1	
標準財政規模	2,444,674	千円			
地方債現在高	3,440,148	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

## 財政力

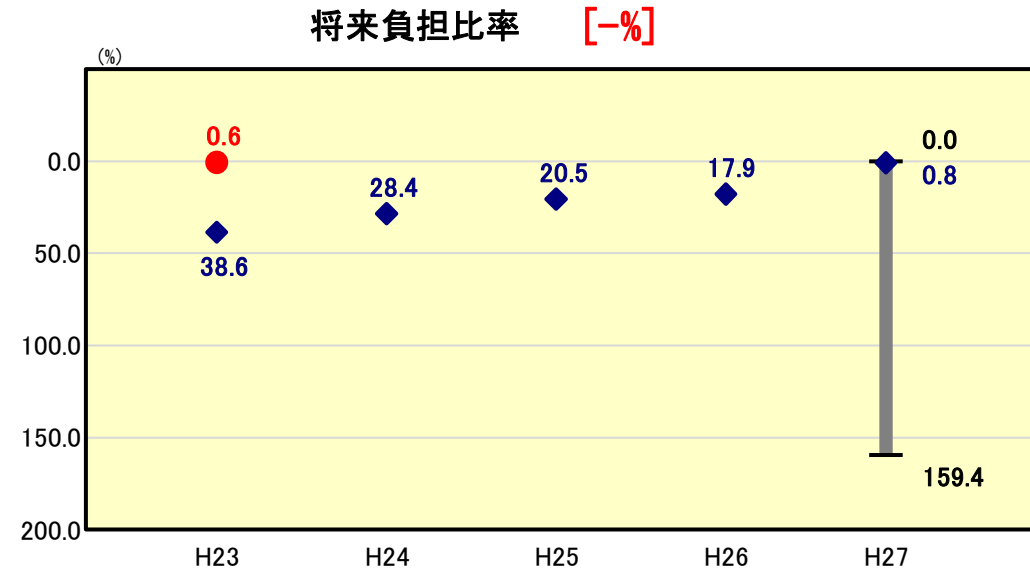


類似団体内順位 7/72 全国平均 0.50 宮城県平均 0.52

**財政力指数の分析欄**

自動車関連産業や太陽光パネル製造企業が相次ぎ立地操業し、順調に生産活動が進んでいる影響で、法人税や固定資産税を中心に収増傾向が堅調に伸びており、近年は類似団体の平均を上回る状況が続いている。  
 平成27年度は0.68と全国平均並びに県平均よりも高い財政力指数となっている。さらに、人口減少対策として村地方創生戦略にも位置付けている定住促進事業や子育て支援事業も積極的に事業展開している中、定住人口も年々微増となっており、個人住民税等の収増も顕著となっている。  
 今後もこれらの事業を積極的に展開しながら、事業の選択と集中による歳出抑制、村税等滞納額の圧縮等債権整理も強化しながら、行財政の効率的な運営・財政の健全化に努めていきたいと考えている。

## 将来負担の状況

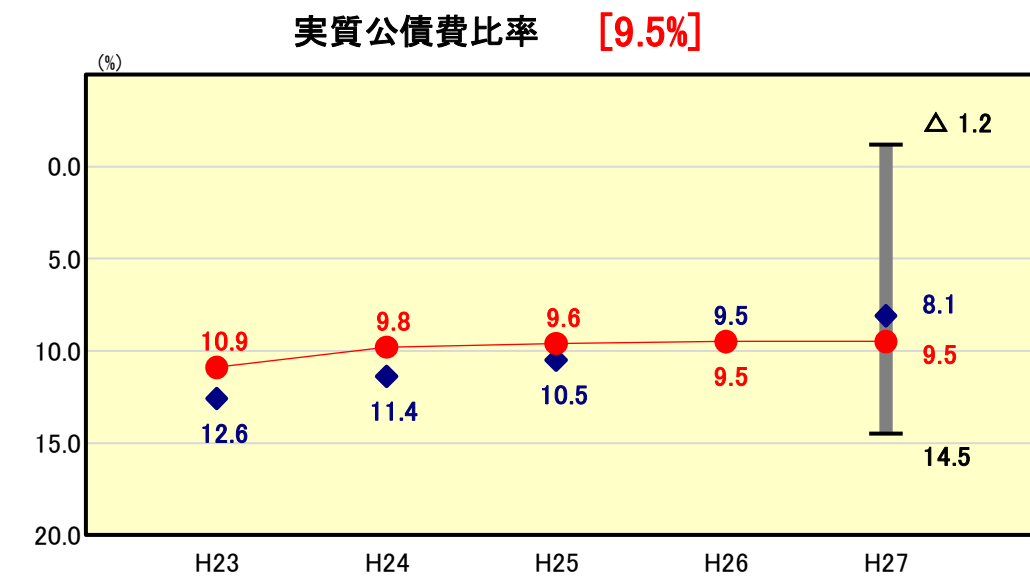


類似団体内順位 1/72 全国平均 38.9 宮城県平均 57.0

**将来負担比率の分析欄**

将来負担比率は△4.6%で、全国平均並びに宮城県平均よりも下回っており、特に類似団体の中では一番低い比率となっている。充当可能財源が97,542千円上回ったため、将来負担比率は生じなかった。当該比率については、平成24年度決算分から4年連続でマイナスとなっている。  
 要因としては、充当可能基金の残高が大きいことや、近年定年退職者が増えて新規採用職員数が増加していることで退職手当組合への負担額が減少していることなどが考えられる。また、標準財政規模も前年度より49,022千円増加したことも要因の一つとなった。

## 公債費負担の状況

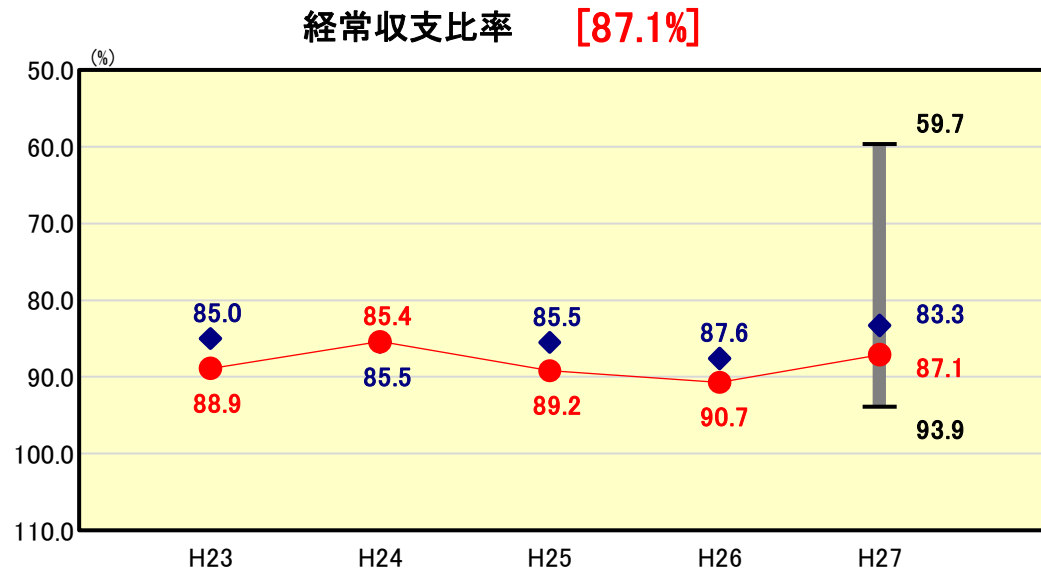


類似団体内順位 44/72 全国平均 7.4 宮城県平均 9.4

**実質公債費比率の分析欄**

交付税措置の高い起債の活用と、事業内容を精査した上での起債抑制策により近年横ばいが続いているが、全国平均や宮城県平均、類似団体平均よりも高い値となっている。要因を分析してみると、公債費の対象となる一般会計の元利償還金は減少しているものの、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還財源に充てたと認められる繰入金が増加していることが挙げられる。また、一部事務組合が起債した地方債に充てるために本村が負担した負担金についても微増傾向となっており、今後も負担金額が増加するものと見込んでいる。  
 さらに、起債償還に充てられる公営住宅使用料などの特定財源について、公営住宅の改修が次々実施されている中、この特定財源も減少しているため、比率が下がらない状況となっている。

## 財政構造の弾力性

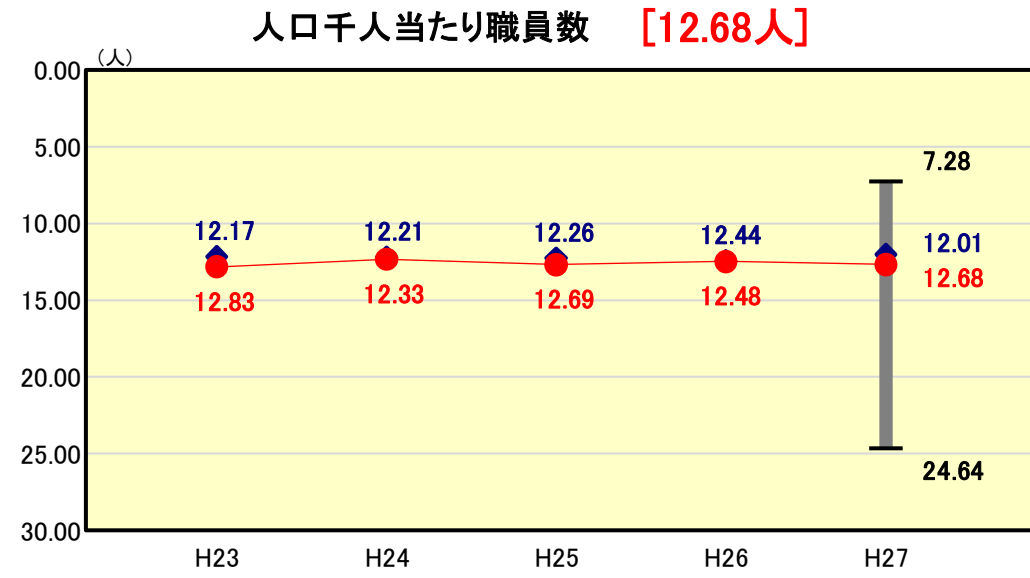


類似団体内順位 53/72 全国平均 90.0 宮城県平均 92.2

**経常収支比率の分析欄**

人件費や公債費の減少により全国平均並びに県平均よりは下回っており、前年度比でも若干改善されたものの、類似団体平均よりはまだ高い値となっており、順位も下位に低迷している。各種会計への繰入金や扶助費が増加傾向にあることが要因の一つとなっている。しかし、その他にも東日本大震災により震災復興特区に指定された関係で固定資産税等が課税免除となり、これに係る減収分は震災特別交付税で措置されるものの、本来ならば収分を一般財源として扱えるところであるが、これは扱えないため、この分で経常収支比率を押し上げているところもある。  
 今後も適正な定員管理に努めるとともに、全ての事務事業の優先度を厳しく点検・精査し、優先度の低い事務事業は段階的に縮小したり廃止したりして、経常経費の歳出抑制を図っていききたいと考えている。

## 定員管理の状況

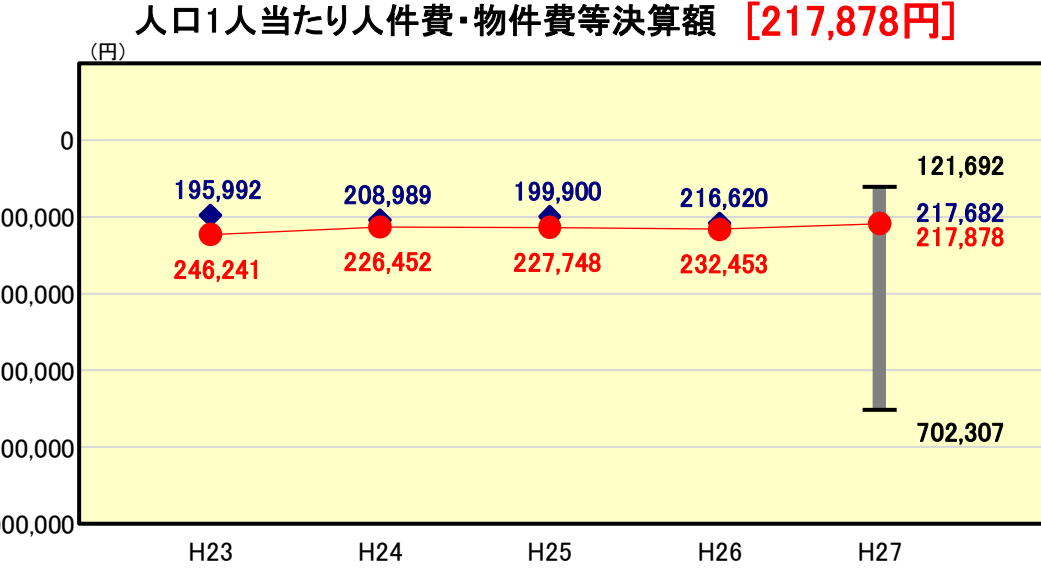


類似団体内順位 49/72 全国平均 6.96 宮城県平均 7.63

**人口千人当たり職員数の分析欄**

全国平均並びに宮城県平均、類似団体平均を上回っているが、本村の集中改革プランに沿った適正な定員管理計画(定員:90名、H27.4職員数:81名)を実施しているところであり、職員の新規採用も行っているが、適正な定員数には至っていない。  
 今後も民間委託の推進、事務事業の見直しによる効率的で適正な職員配置等を鋭意行っていきながら、更なる適正管理に努めていききたいと考えている。

## 人件費・物件費等の状況

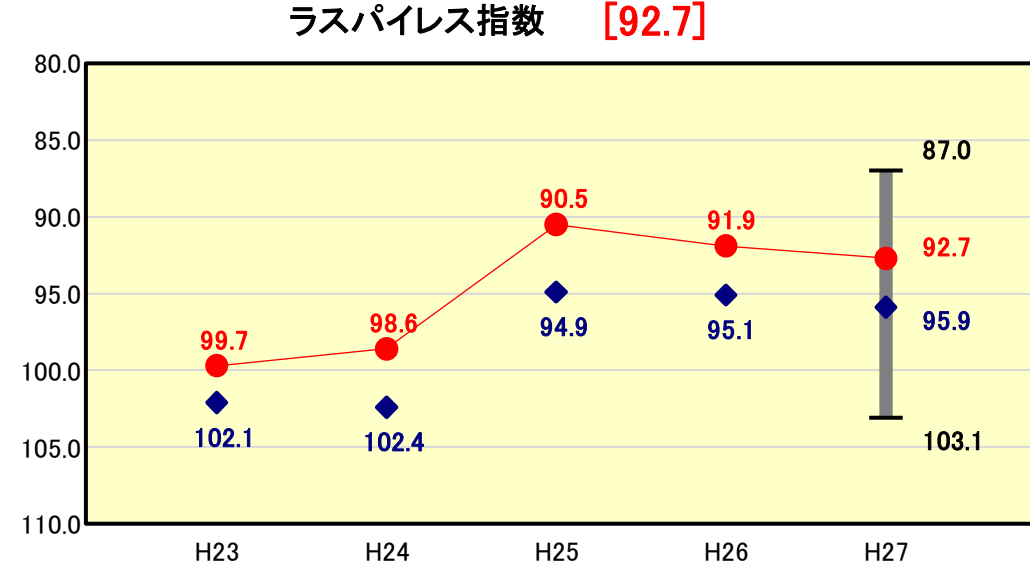


類似団体内順位 43/72 全国平均 121,920 宮城県平均 137,374

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

類似団体平均と比較して上回っている要因は主に物件費であり、指定管理者制度を活用した公共施設等の管理や、公立の保育園・幼稚園を廃止して民間委託している幼保一体型の認定こども園への委託料の増加も大きな比重を占めているところである。また、除排雪経費や村内公共施設の除草委託業務等民間委託している事業の事業費も年々増加傾向にあることも寄与しているところである。  
 人件費についてはほぼ横ばいの状況が続いているところである。  
 今後も事業の精査を積極的に進めていきながら、維持管理経費の節減にもお一層努めていききたいと考えている。

## 給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 9/72 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

**ラスパイレズ指数の分析欄**

職員の定員適正化計画等に基づき、本村独自に給料俸や各種手当の総点検による給与体系の見直しを積極的に実施しており、全国市町村平均並びに類似団体平均よりも下回っているところである。特に類似団体内では上位となっている。



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

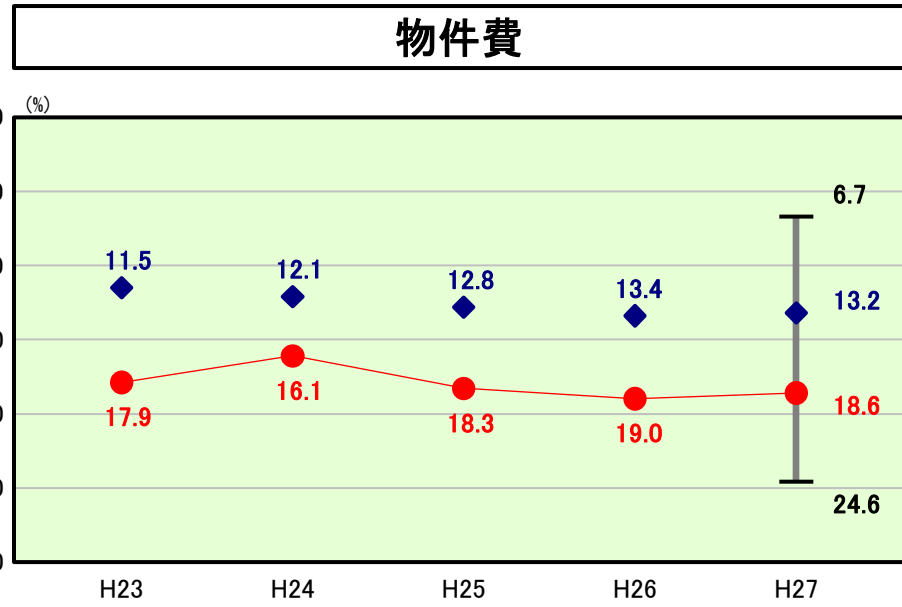
宮城県大衡村

## 経常収支比率の分析

人口	5,838	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	5,781	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	60.32	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.5	%
歳入総額	4,587,527	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,338,691	千円	市町村類型	H23 II-2 H24 II-2 H25 II-2	
実質収支	135,372	千円	(年度毎)	H26 II-2 H27 II-1	
標準財政規模	2,444,674	千円			

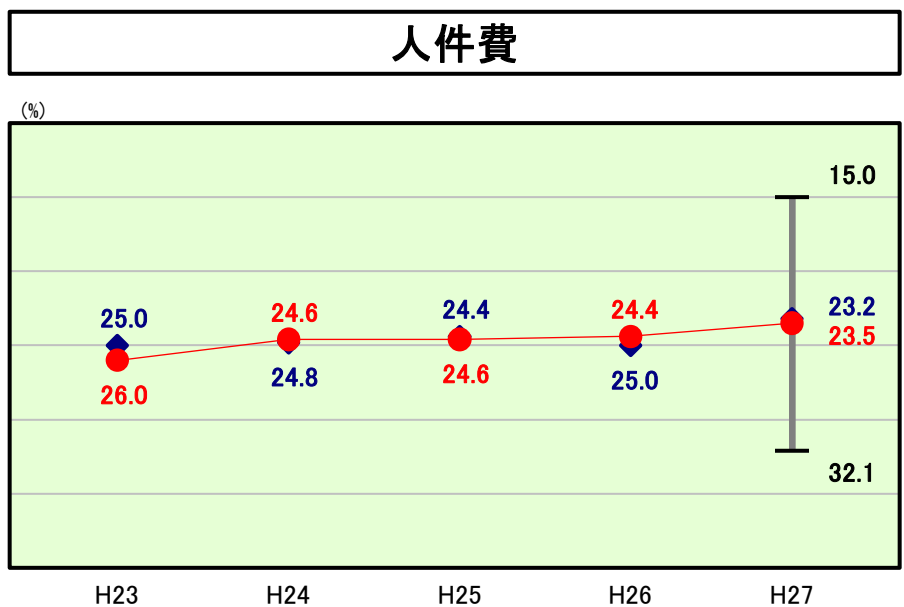


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



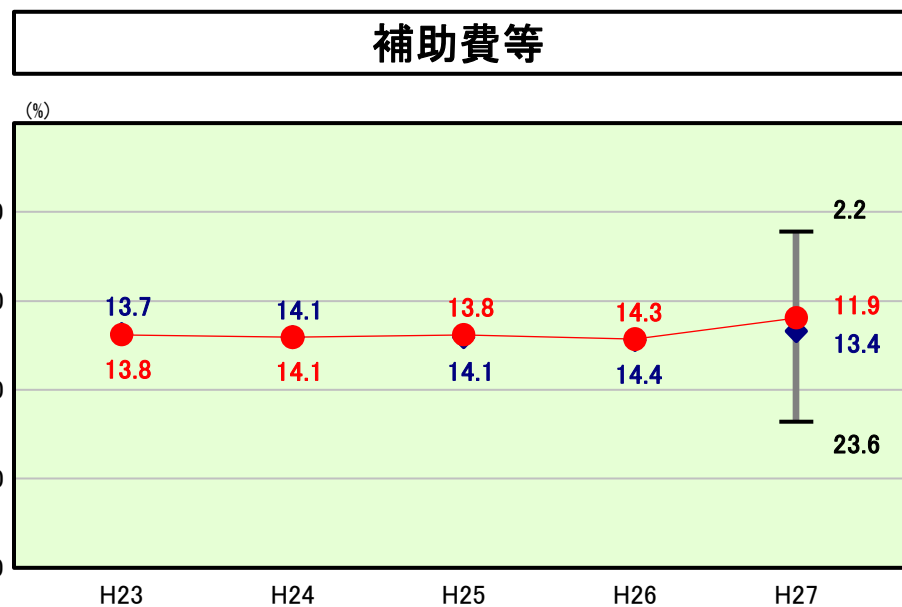
類似団体内順位 70/72 全国平均 14.3 宮城県平均 14.8

**物件費の分析欄**  
 全国平均並びに県平均、類似団体平均よりも近年は上回っている状態が続いている。大きな要因となっているのが各種公共施設の管理運営業務や認定こども園の運営など民間委託によるものである。  
 村内7施設の維持管理を指定管理者制度により、本村が65%出資している法人に委託しているほか、公立保育園と幼稚園を廃止し新設した認定こども園を社会福祉法人に民設民営で委託しており、これにより職員人件費等から委託料へシフトしているものである。  
 管理経費の軽減、人件費の抑制を図る上では有効な手段と考えており、物件費の率は高くなっているが、今後も委託内容や全体事業費を精査しながらも民



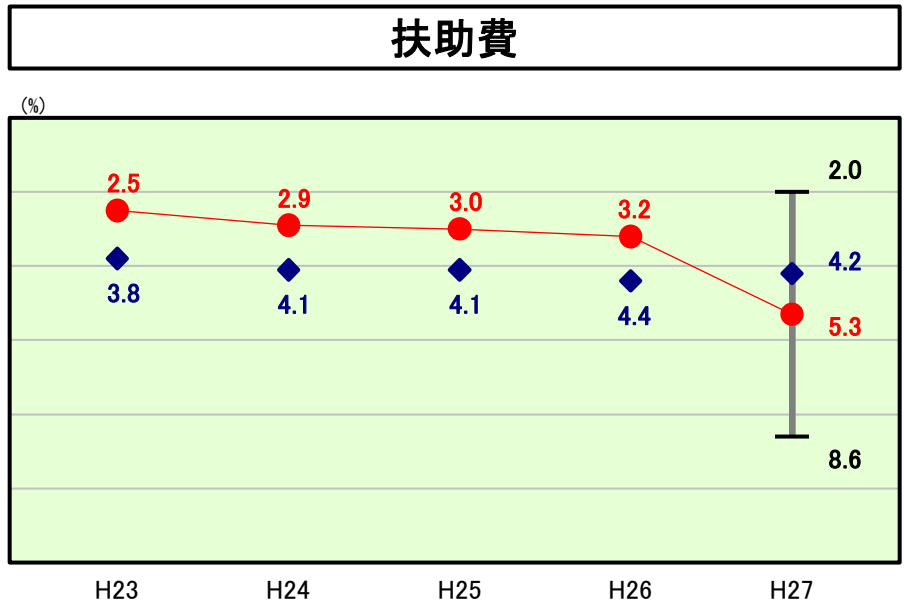
類似団体内順位 37/72 全国平均 23.3 宮城県平均 24.7

**人件費の分析欄**  
 これまでも実施してきた職員の定員適正化計画に基づきながら、計画的な職員採用や抑制、早期退職者勧奨制度や再任用制度の導入、臨時職員の雇用、給料俸の昇給制度の見直し、特殊勤務手当の廃止や退職時の特別昇給の廃止等、人件費の圧縮に積極的に取り組んできた成果は表れているところであり、類似団体平均とほぼ同程度の数値となっている。県平均よりは下回っている。



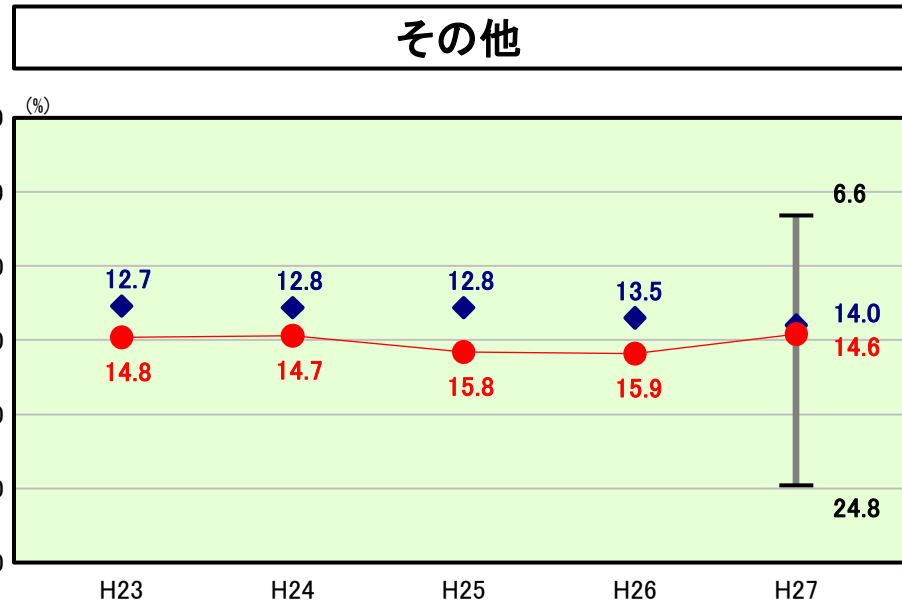
類似団体内順位 23/72 全国平均 10.0 宮城県平均 10.8

**補助費等の分析欄**  
 全国平均並びに県平均よりは高いものの、類似団体平均よりは下回っており、27年度決算においては比率は下がったところである。企業進出のインセンティブとして本村独自に助成している企業立地奨励金や定住促進策として個人が新築したり、事業主がアパートを新築した際に助成する定住促進奨励金、太陽光パネル設置など新エネルギー導入に関連した補助金などが大きな要因となっている。一部事務組合に対する負担金の増加も要因の一つと考えられる。現在一部事務組合においてごみ焼却施設を建設中であり、これに係る負担金が増加する見込みであることから、補助費の割合が増加することが想定され、今後もやや高い水準で推移するものと考えている。  
 企業誘致や定住促進、新エネルギー導入は村総合計画では重要施策として位置付けており、今後も事業継続していくこととなるが、その他については見直しや廃止も視野に入れながら、適正管理・歳出抑制に努めていきたいと考えている。



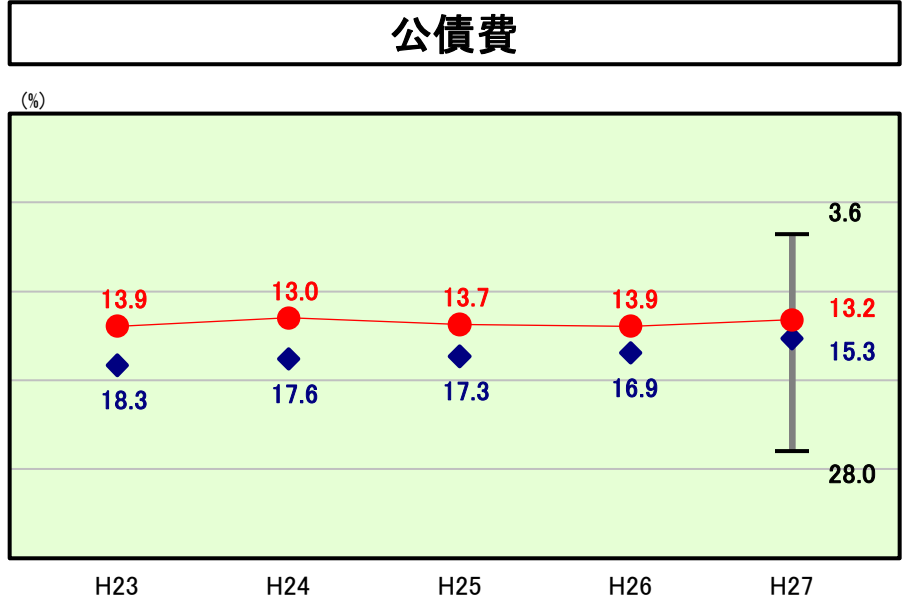
類似団体内順位 54/72 全国平均 11.8 宮城県平均 9.3

**扶助費の分析欄**  
 全国平均並びに県平均よりは下回っているが、類似団体平均よりは高い数値となっている。臨時福祉給付金において新たに年金生活者等支援臨時福祉給付金や子ども・子育て支援事業に係る給付費が増加したことが要因の一つとなっている。  
 社会保障関連経費や生活保護費等も年々増加傾向にあり、比率も増加傾向となっている。資格審査等の適正化や各種手当への特別加算等の見直しも検討していきたいと考えている。



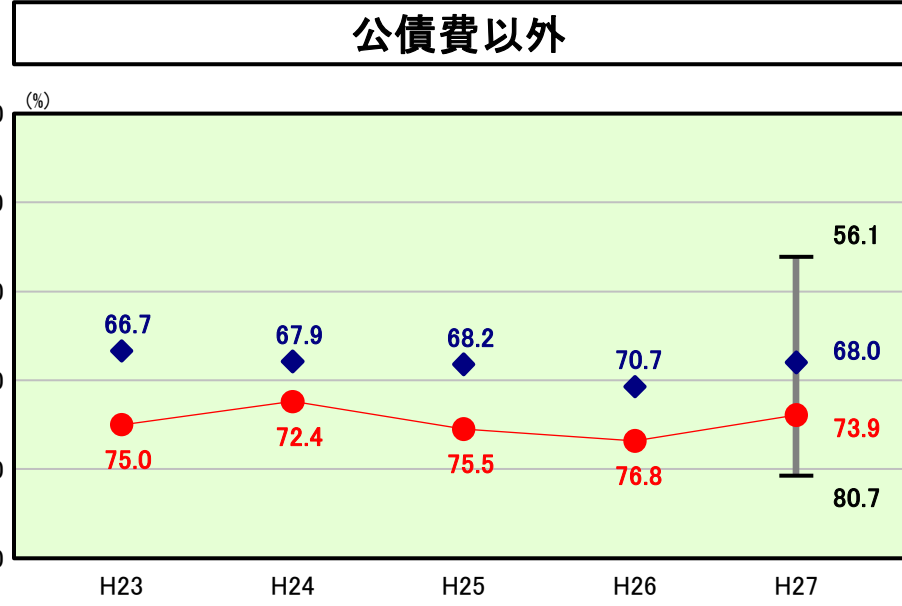
類似団体内順位 46/72 全国平均 13.2 宮城県平均 14.7

**その他の分析欄**  
 全国平均や類似団体平均よりは上回っているが、主な要因としては各種特別会計への繰出金の増加によるものである。歳出全体の10.1%を占め、下水道施設や戸別合併処理浄化槽の維持管理経費のほか、施設整備で発行した元利償還費が使用料収入だけでは賅うことができず、ほとんどの償還費分を繰出金に依存している状態となっている。また、国保会計や介護保険会計等についても医療費や社会保障費の増加に伴うもの、繰出基準外に係るものもあり増加傾向となっている。さらに、27年度においては宅地造成事業会計も新たに繰出金が発生しているところであり、今後も横ばいか、若しくは増加していくものと見込んでいる。今後は、独立採算の原則に立ち返り、使用料や保険料等料金の適正化を考慮した料金体系の見直しも検討していきたいながら、一般会計からの繰入金金の抑制に努めていきたいと考えている。



類似団体内順位 28/72 全国平均 17.4 宮城県平均 17.9

**公債費の分析欄**  
 村総合計画の実施計画の進行管理や事業の選択と集中を徹底し、年次計画的に事業を進めながら起債発行を抑制してきた結果、全国平均並びに県平均、類似団体平均よりも下回っているところである。  
 一般会計においては臨時財政対策債を除く各種起債発行額は減少傾向にあるが、公債費比率は横ばい状態が続いているところである。  
 村総合計画でも重要施策として位置付けている本村独自の住宅団地整備に係る起債償還も発生してくる見込みであり、今後も事業内容を厳しく精査し、起債以外の有効な財源を積極的に活用しながら、起債発行額の抑制に努めていきたいと考えている。



類似団体内順位 57/72 全国平均 72.6 宮城県平均 74.3

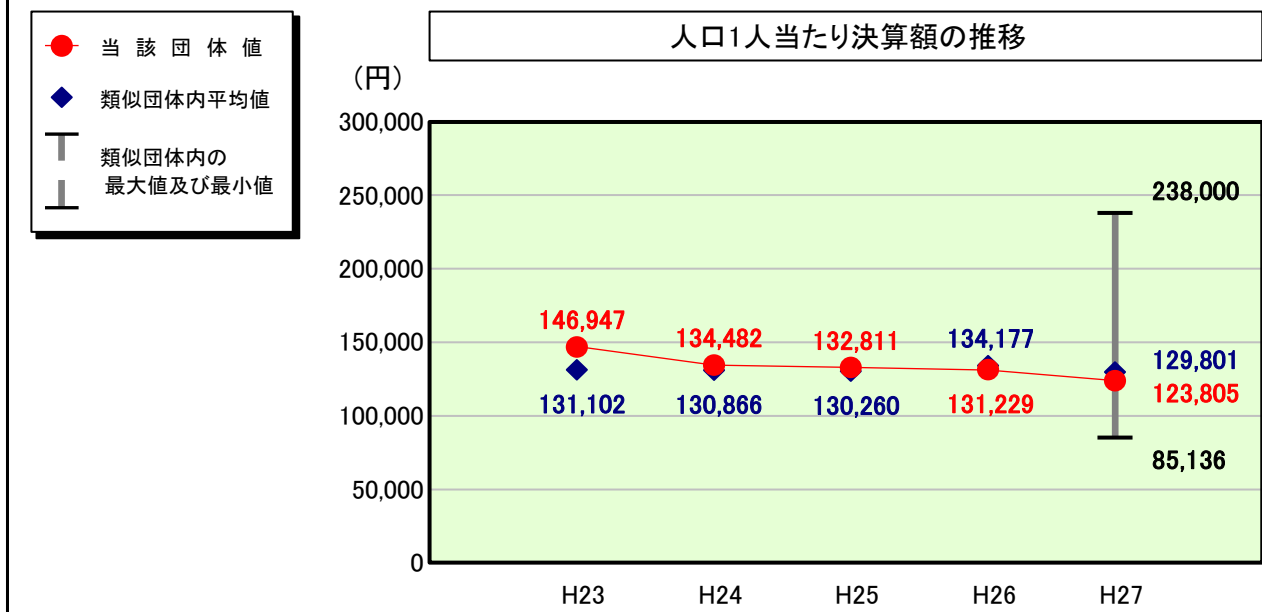
**公債費以外の分析欄**  
 全国平均並びに類似団体平均よりは上回っているが、県平均よりは下回っているところである。村総合計画や村地方創生総合戦略の重点施策として位置付けている定住促進事業や子ども子育て事業、企業誘致や新エネルギー推進事業等々を進めていくための各種基盤整備事業やソフト事業の増加が大きな要因となっている。  
 本村の独自色を打ち出したり、良好なまちづくりを形成したりしていくためには欠かせない事業であり、今後も各種プロジェクト実現のための施策事業を計画しており、財源の確保、事業内容の精査による経費節減に努めていきながら、最小の経費で最大の効果を生み出す方を講じていきたいと考えている。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

宮城県大衡村

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

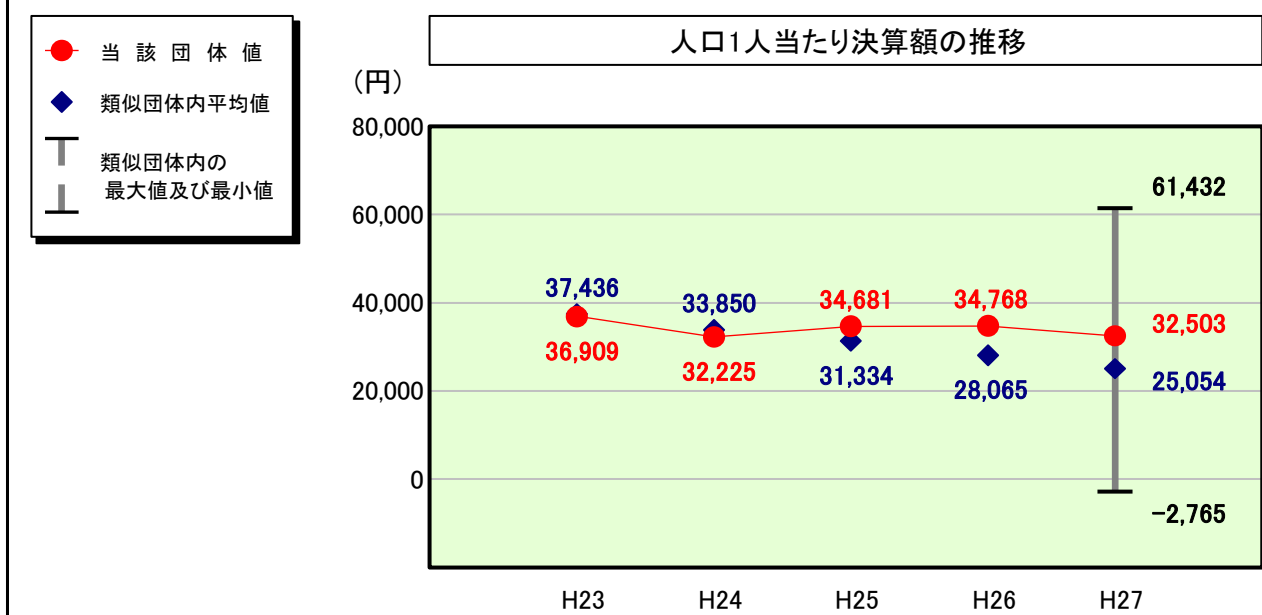
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	606,735	103,929	105,093	▲ 1.1
賃金(物件費)	28,123	4,817	11,546	▲ 58.3
一部事務組合負担金(補助費等)	101,332	17,357	13,382	29.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,136	195	1,458	▲ 86.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	43,070	7,378	5,712	29.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	7,597	1,301	2,855	▲ 54.4
▲退職金	▲ 65,222	▲ 11,172	▲ 10,245	9.0
合計	722,771	123,805	129,801	▲ 4.6

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.68	12.01	0.67
ラスパイレス指数	92.7	95.9	▲ 3.2

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

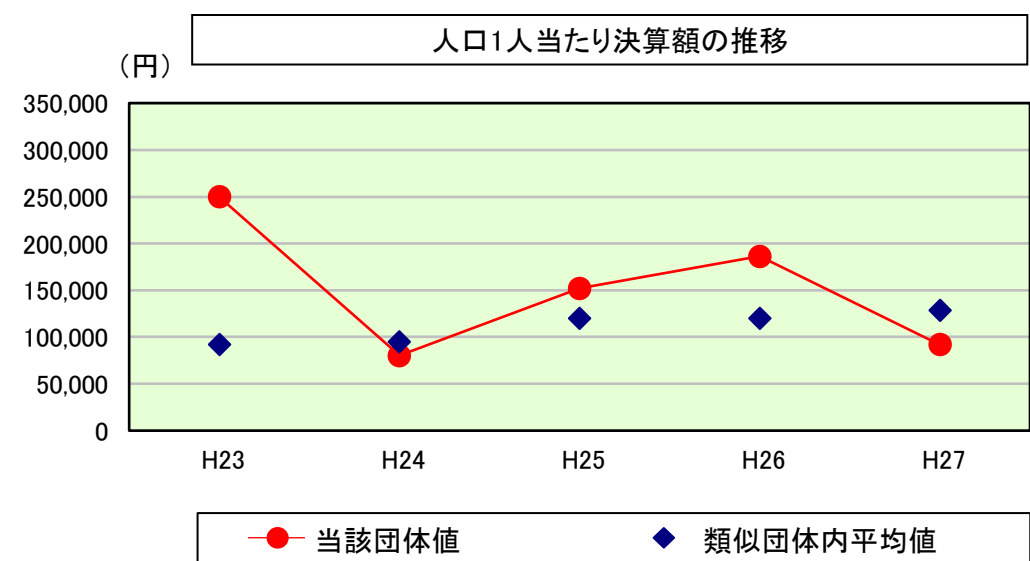


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	344,165	58,953	66,201	▲ 10.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	151,162	25,893	21,827	18.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	54,474	9,331	5,334	74.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	697	119	1,051	▲ 88.7
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲ 10,730	▲ 1,838	▲ 2,306	▲ 20.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 350,018	▲ 59,955	▲ 67,056	▲ 10.6
合計	189,750	32,503	25,054	29.7

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H23	1,383,217	249,904	50.5	92,021	▲ 31.1	81.6
うち単独分	754,089	136,240	6.8	52,579	▲ 9.2	16.0
H24	447,921	80,072	▲ 68.0	94,828	3.1	▲ 71.1
うち単独分	348,204	62,246	▲ 54.3	55,133	4.9	▲ 59.2
H25	862,045	151,902	89.7	119,674	26.2	63.5
うち単独分	602,852	106,229	70.7	57,803	4.8	65.9
H26	1,074,858	186,252	22.6	119,685	0.0	22.6
うち単独分	638,642	110,664	4.2	68,464	18.4	▲ 14.2
H27	536,010	91,814	▲ 50.7	128,611	7.5	▲ 58.2
うち単独分	329,757	56,485	▲ 49.0	61,552	▲ 10.1	▲ 38.9
過去5年間平均	860,810	151,989	8.8	110,964	1.1	7.7
うち単独分	534,709	94,373	▲ 4.3	59,106	1.8	▲ 6.1



# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

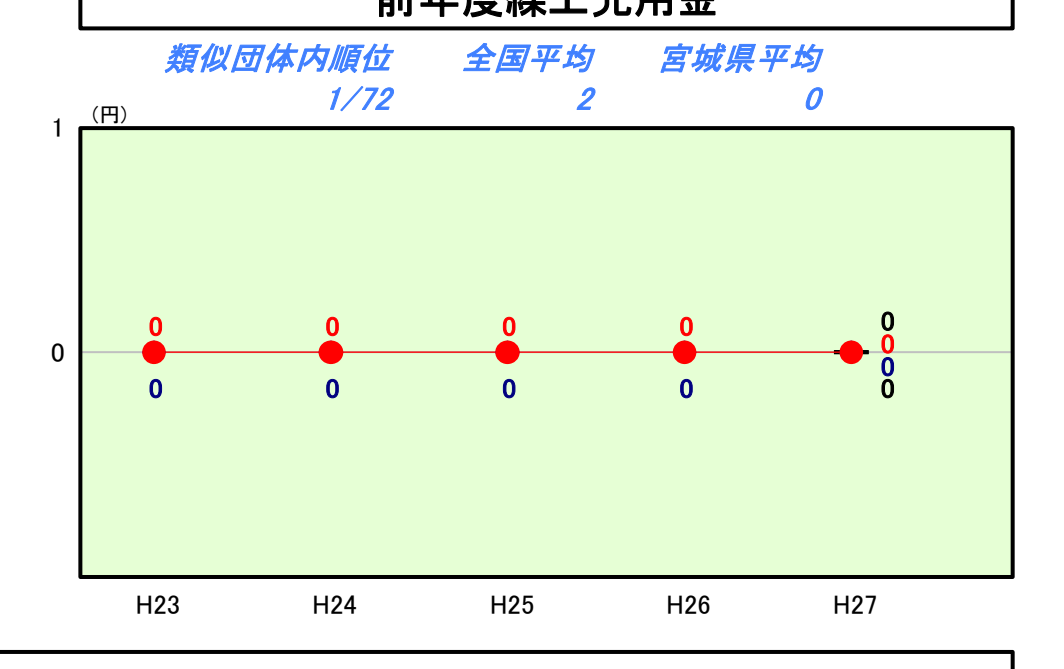
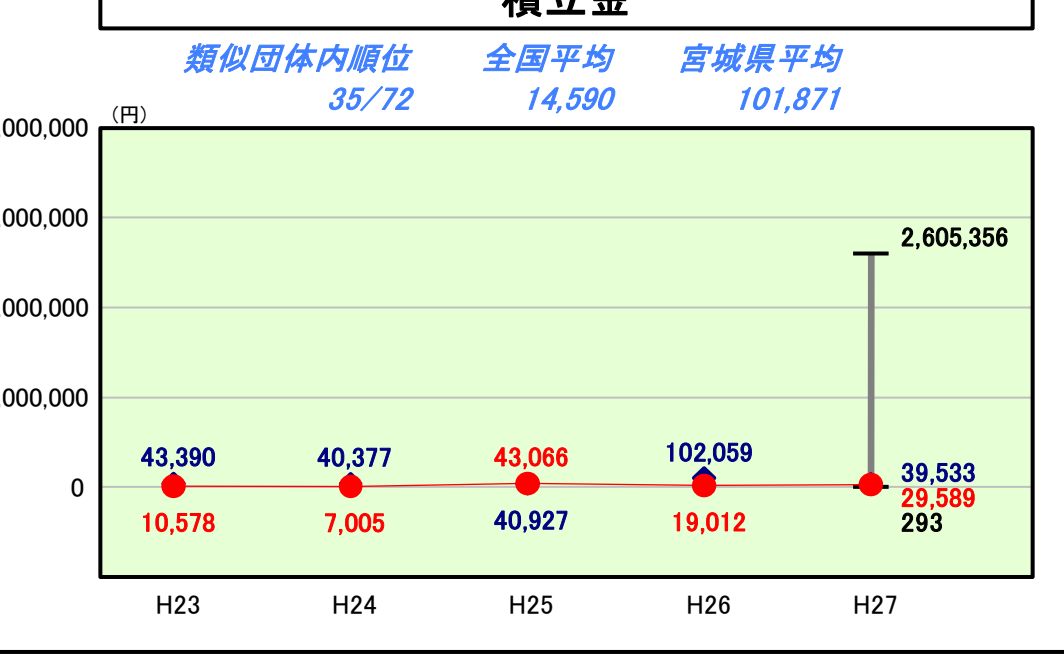
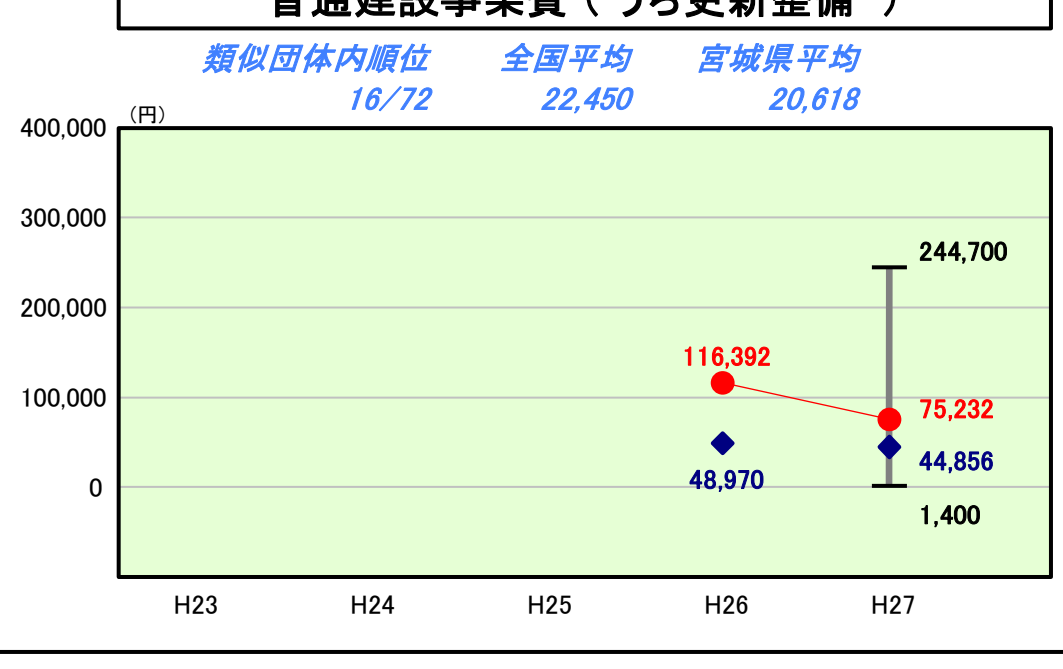
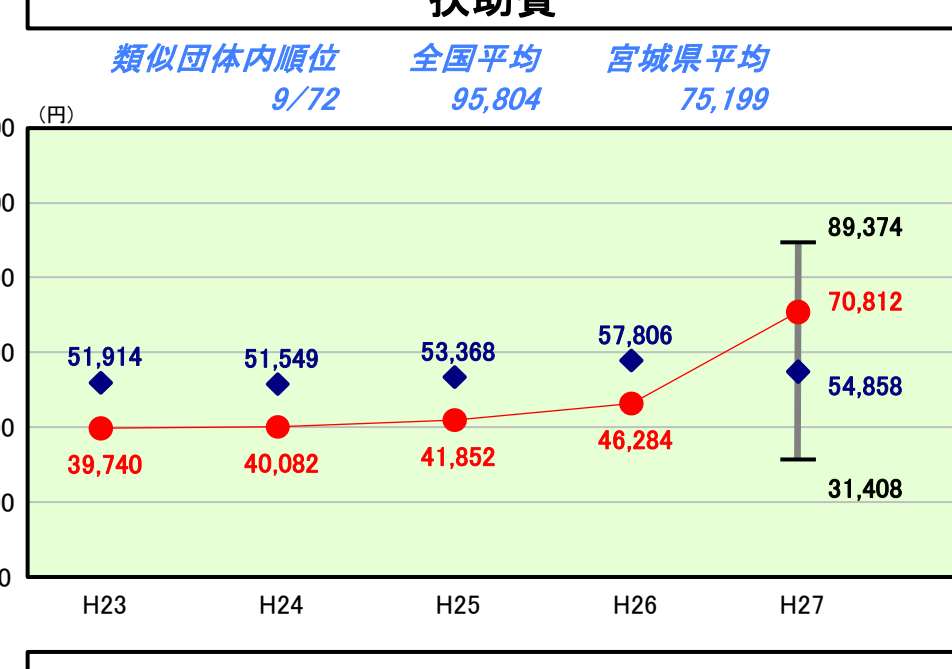
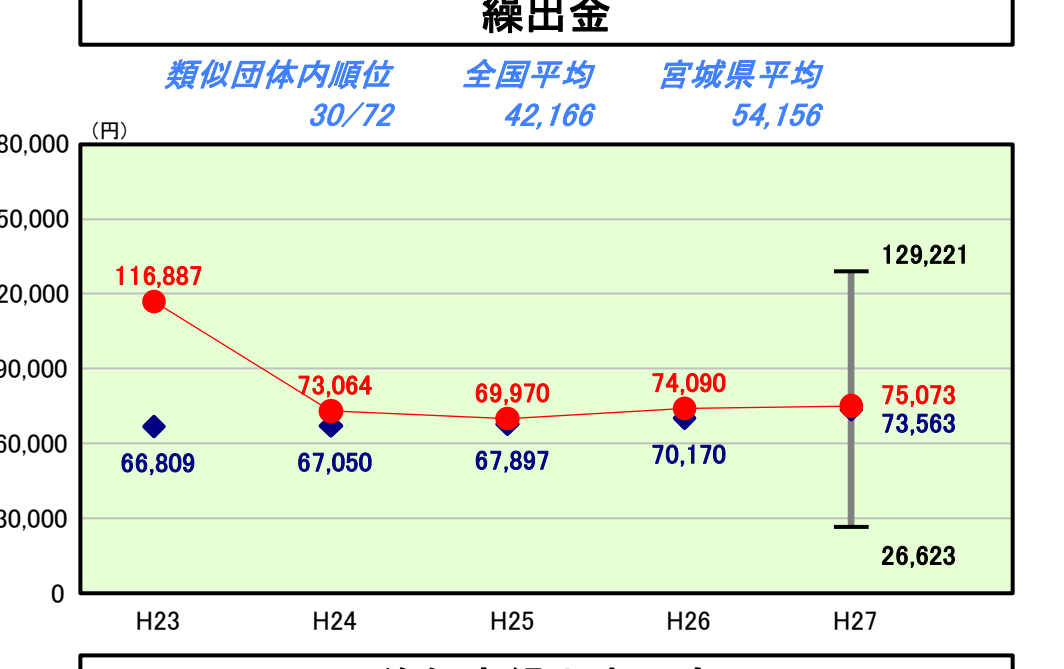
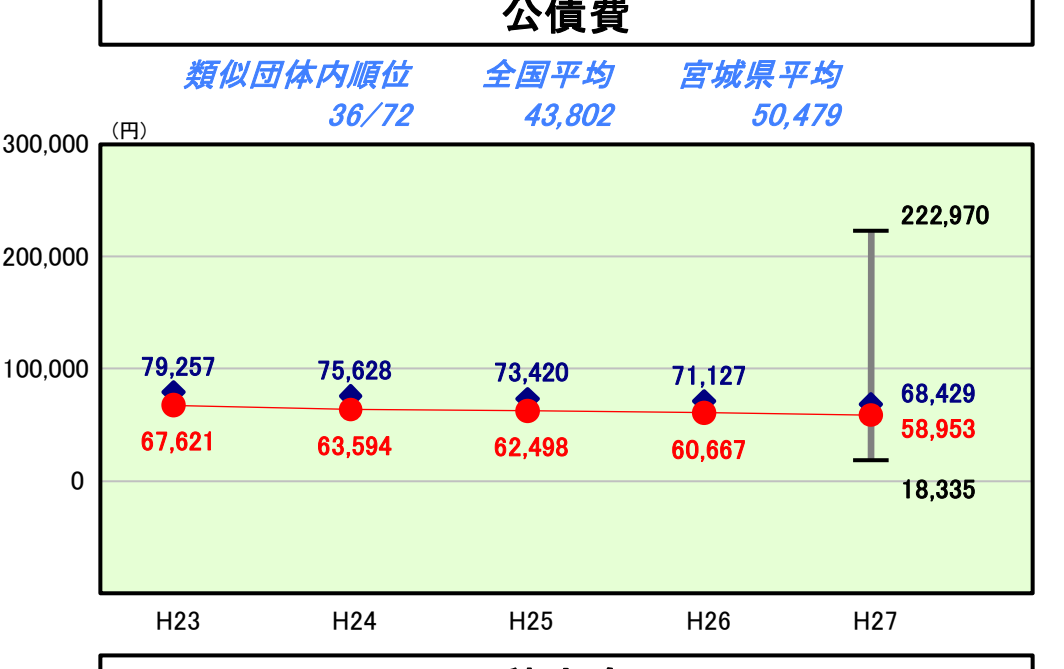
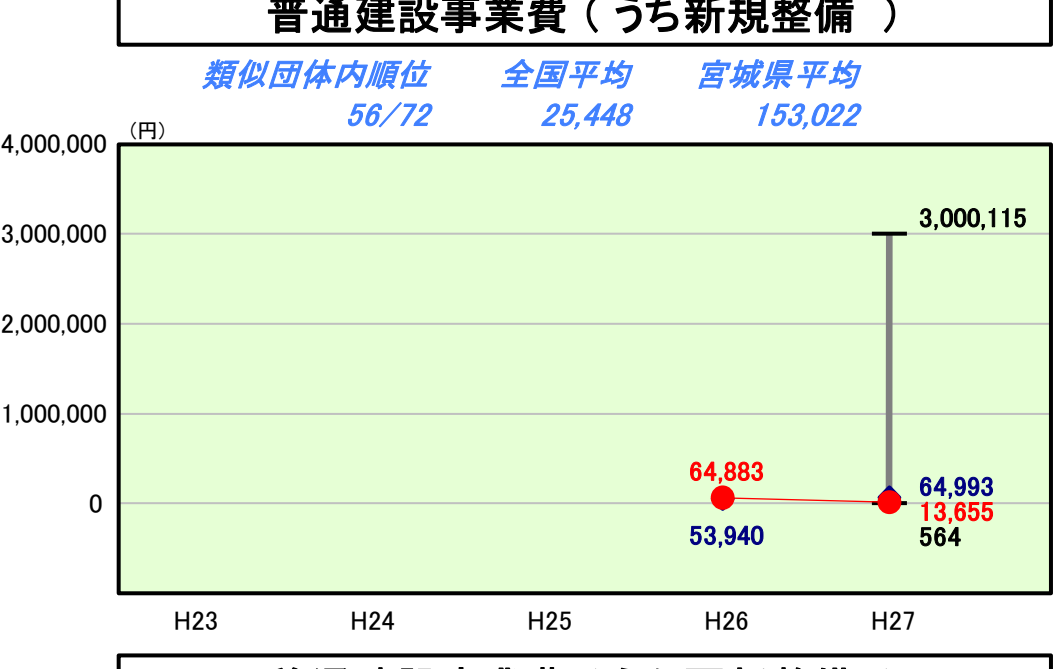
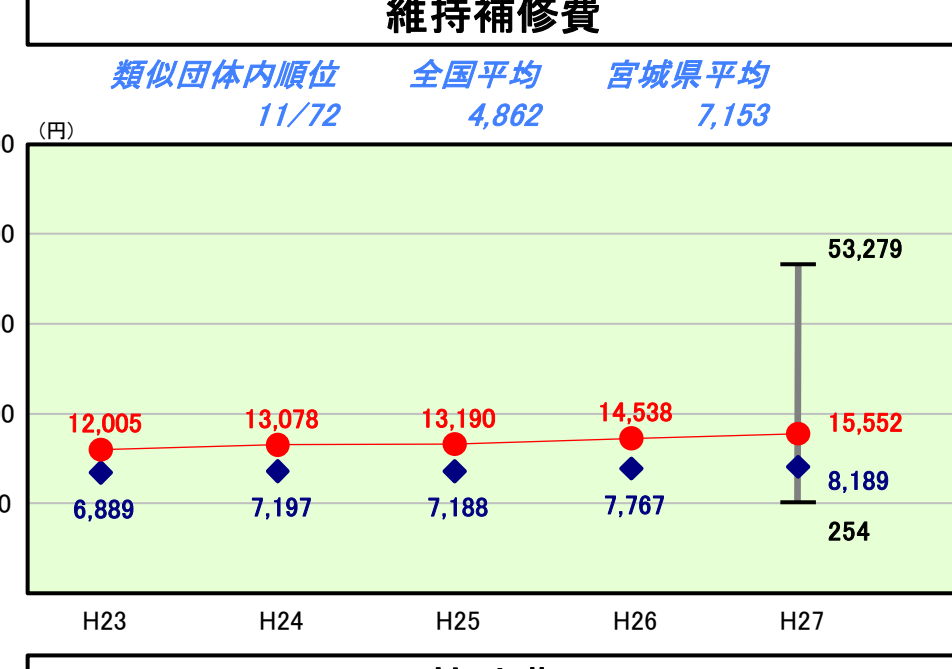
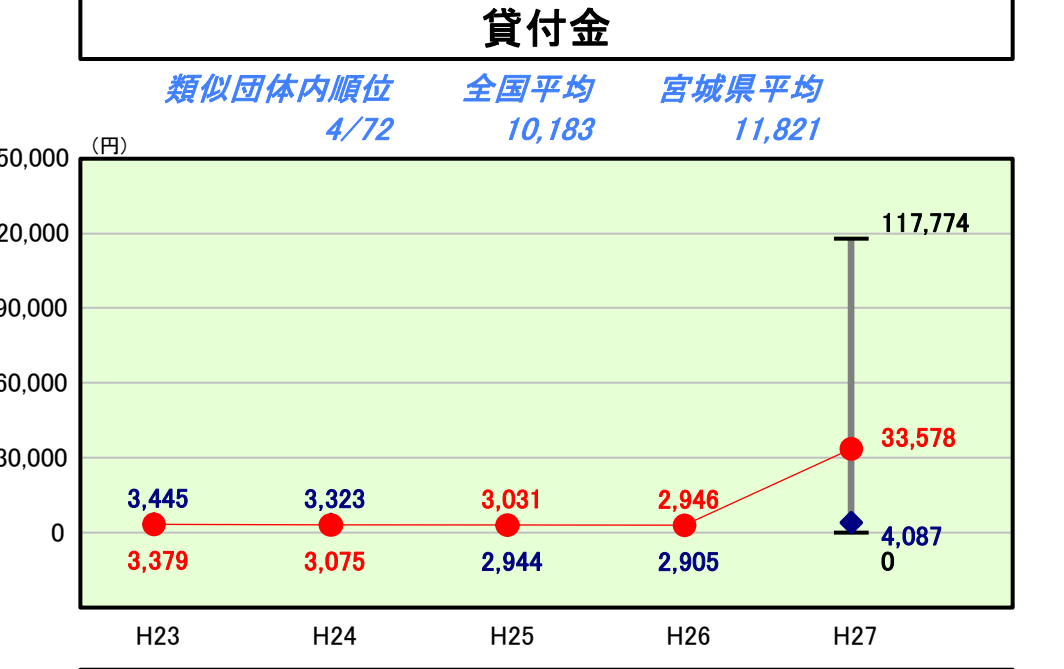
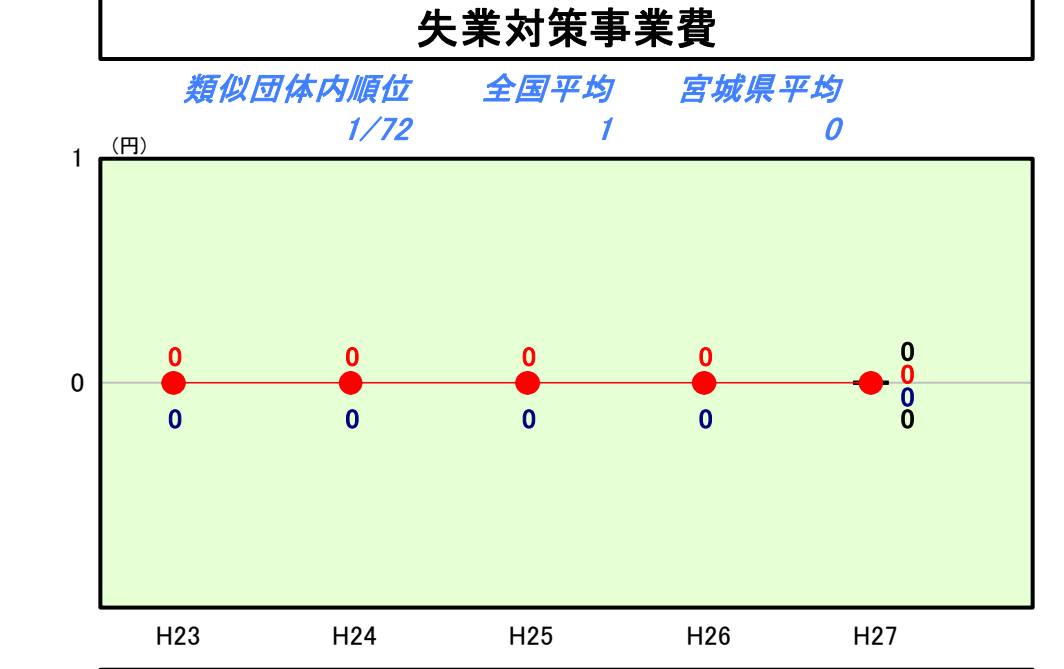
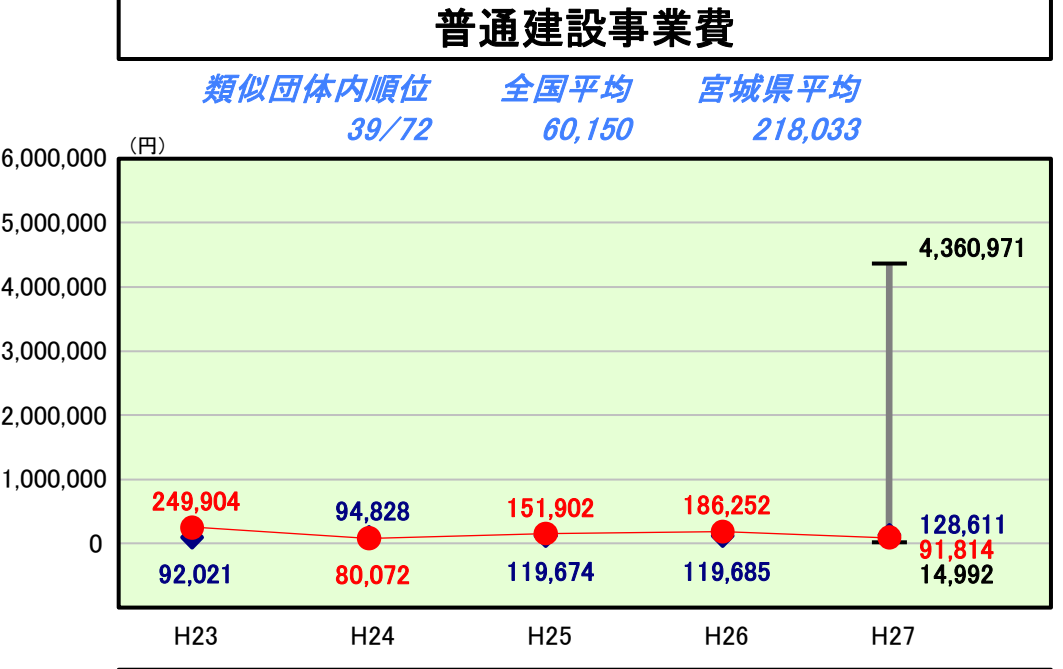
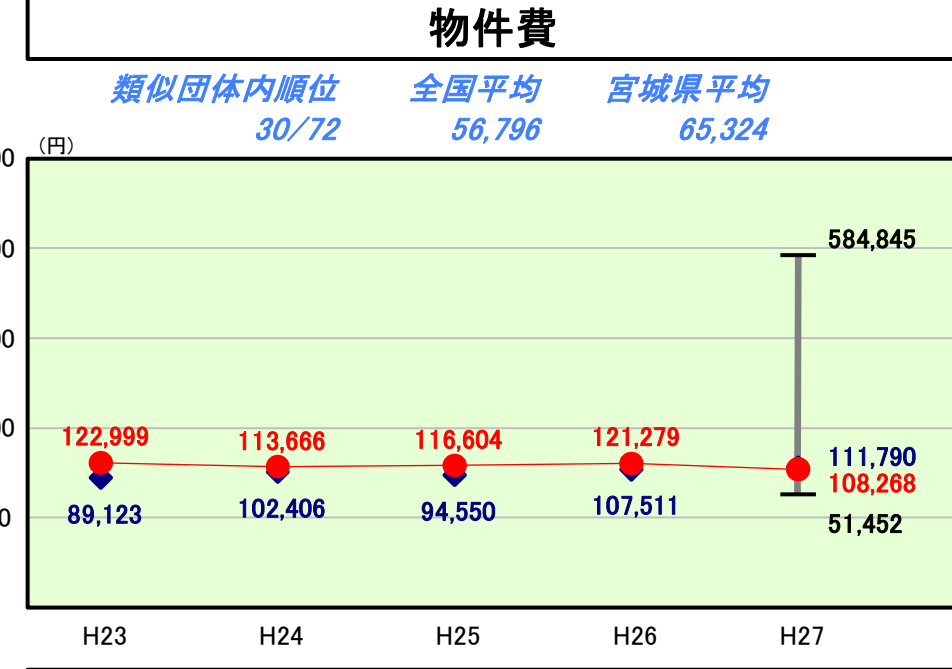
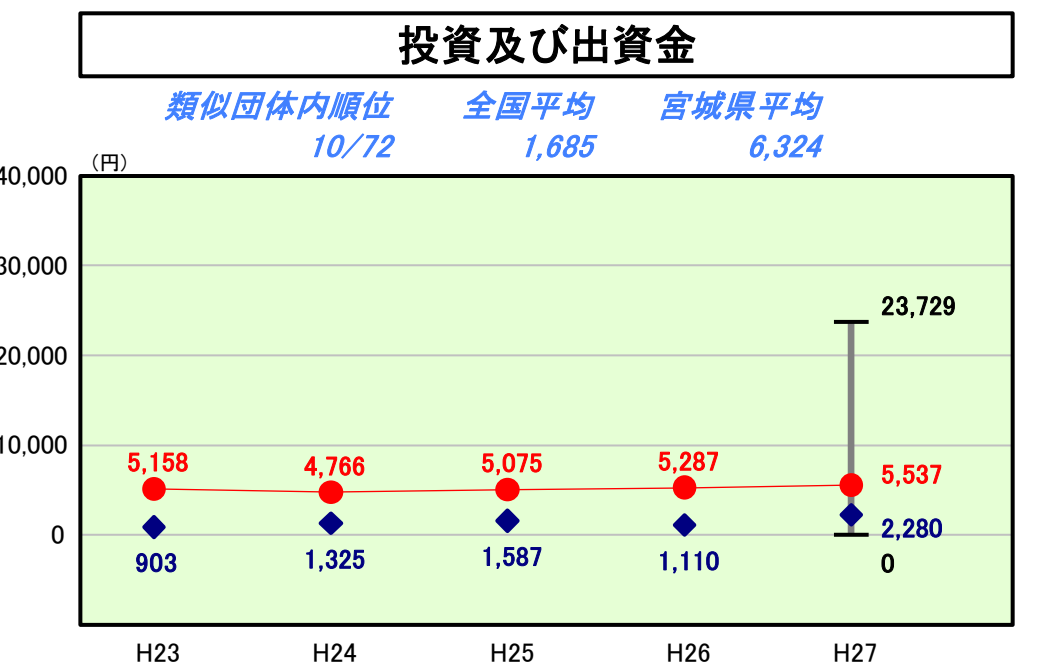
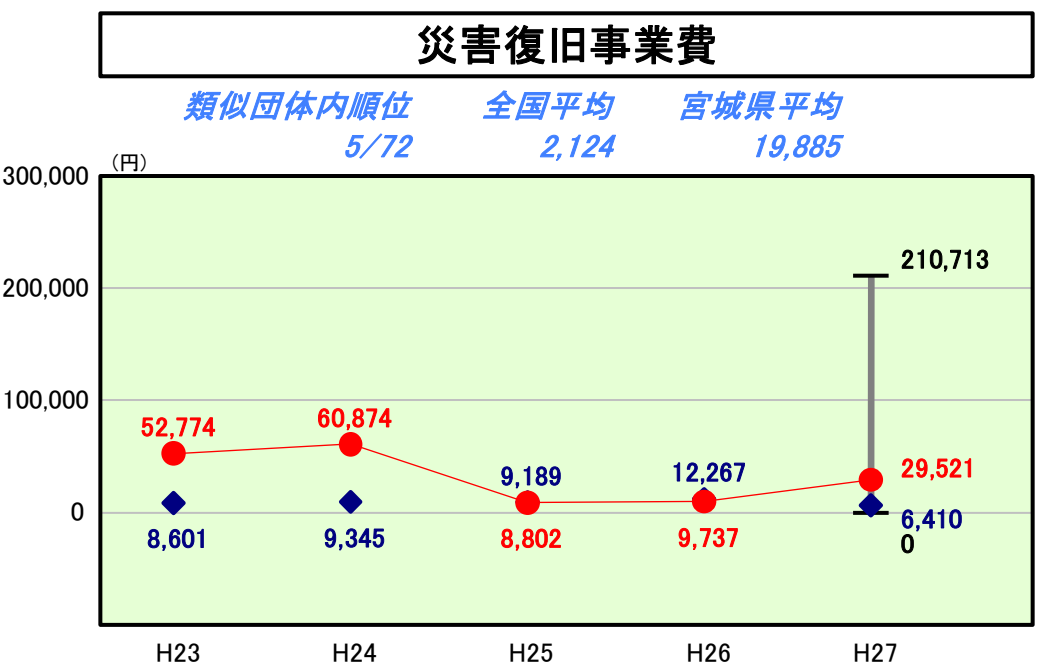
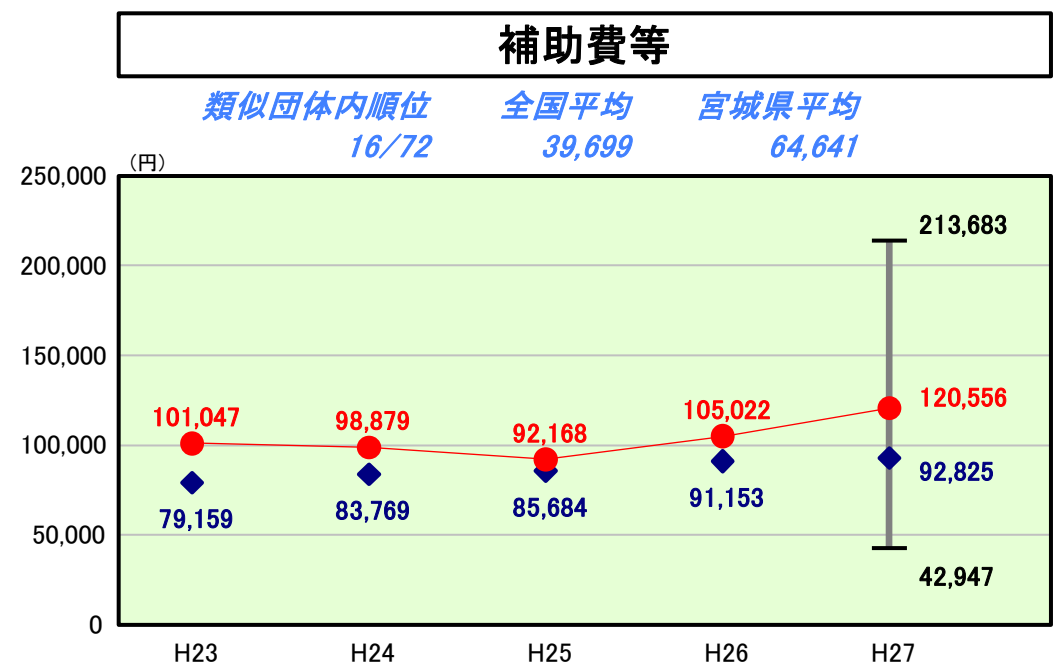
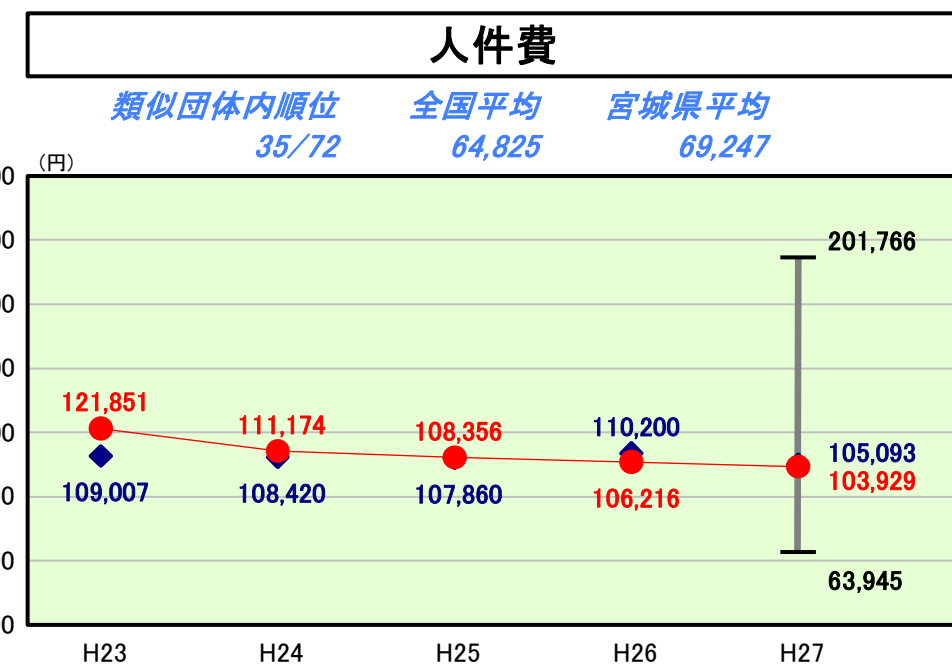
平成27年度

宮城県大衡村

人口	5,838人 (H28.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	5,781人 (H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	60.32km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.5%
歳入総額	4,587,527千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,338,691千円	市町村類型	H23 II-2 H24 II-2 H25 II-2
実質収支	135,372千円	(年度毎)	H26 II-2 H27 II-1
標準財政規模	2,444,674千円		
地方債現在高	3,440,148千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



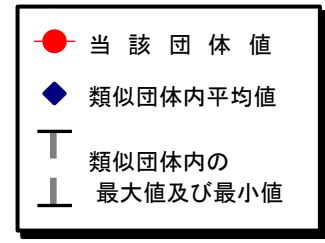
**性質別歳出の分析欄**  
 歳出決算総額は、住民一人当たり743,182円となっている。主な構成項目である人件費は、住民一人当たり103,929円となっており、近年は新規職員を採用しているが、採用する職員数見合い分の定年退職者や早期退職者もあり、総体的にはコストは減少傾向となっている。類似団体平均よりは下回っているところである。扶助費は住民一人当たり70,812円で、前年度比53.0%増となっているが、これは臨時福祉給付金や障害者事業に係る扶助費の増加が要因となっている。普通建設事業費は住民一人当たり91,814円となっているが、近年は既存村道の改良舗装事業が多いため、更新整備に係るコストが多い状況となっている。災害復旧事業費が住民一人当たり29,521円となっているが、これは関東・東北豪雨災害による災害復旧分であり、通常の公共施設等の災害復旧に加え、村独自に村内農地の災害復旧も実施した結果コストが増大したものである。貸付金は住民一人当たり33,578円となっているが、27年度から始まった村独自の新たな住宅団地開発事業の関係で、特別会計として新設した宅地造成事業特別会計に一部一般会計からの貸付金を行ったためコストを押し上げた要因となった。  
 今後は、28年度に策定する公共施設等総合管理計画に基づき、普通建設事業費の更新整備分が増加していくものと考えているが、事業の選択と集中を徹底していきながら、計画的にバランスのとれた事業執行に努めていきたいと考えている。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

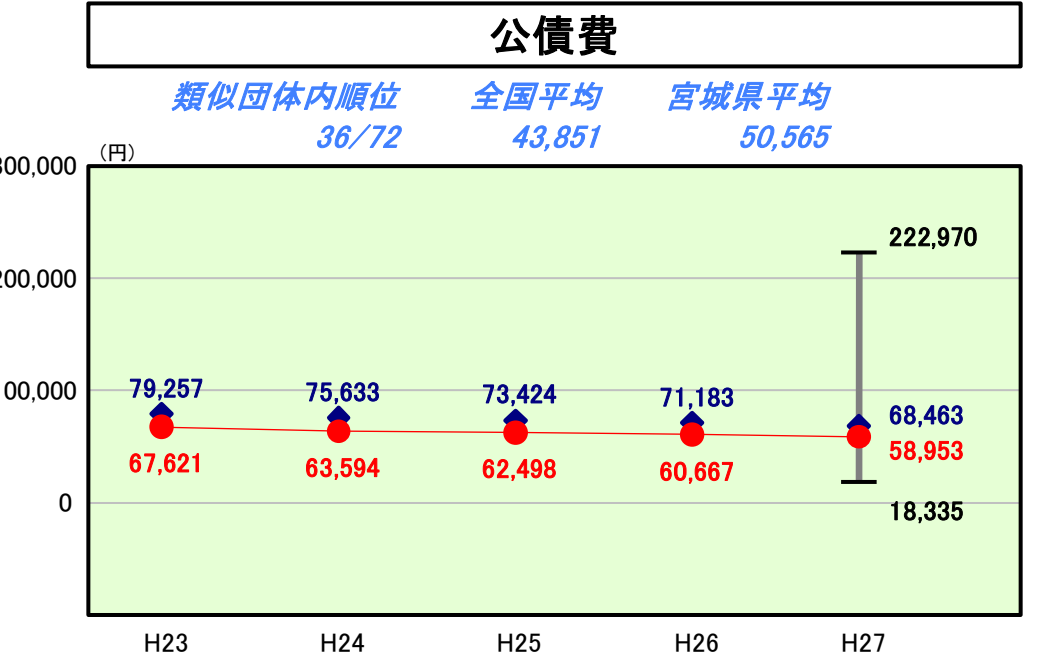
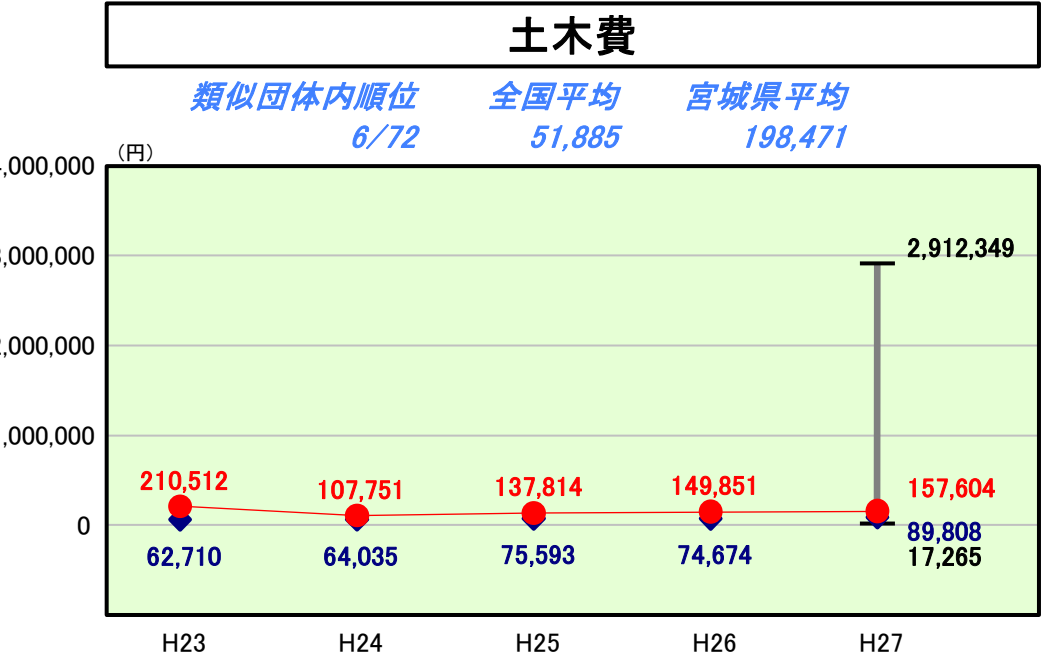
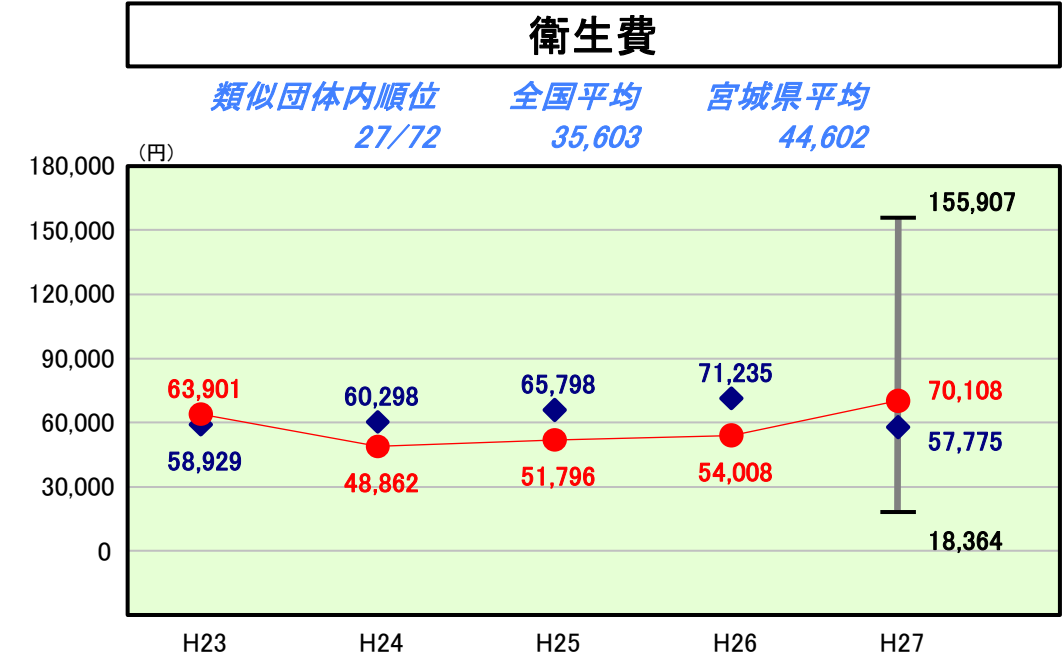
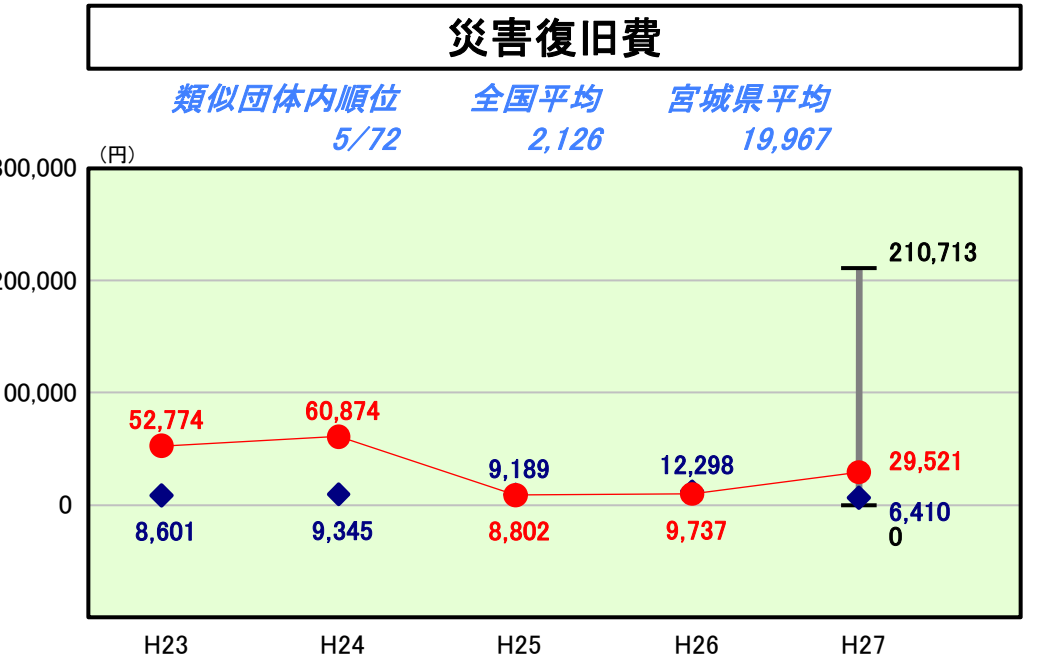
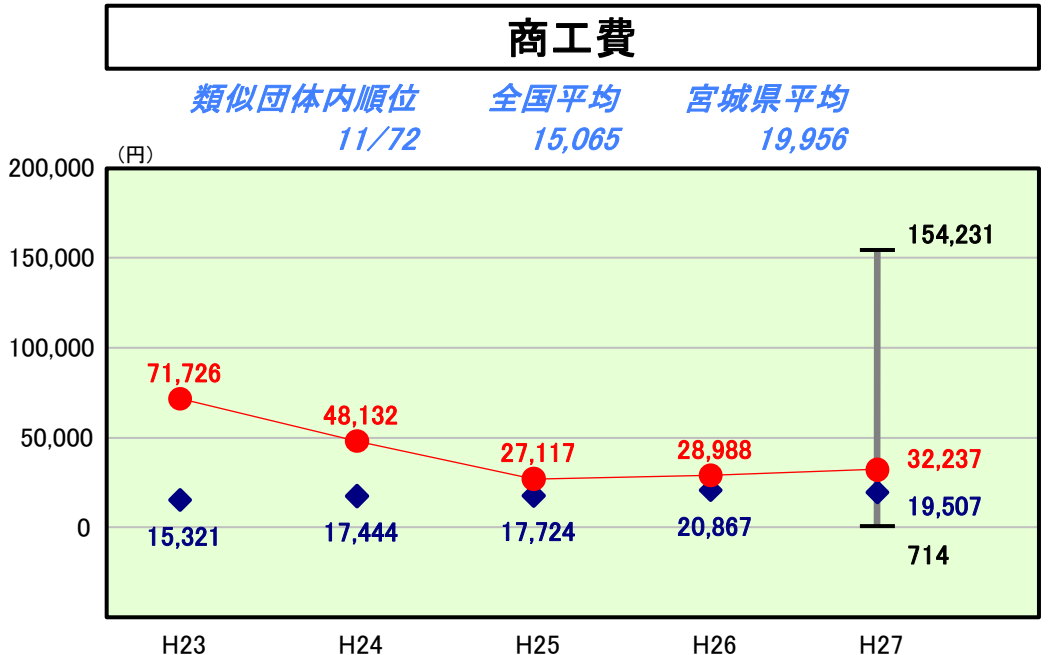
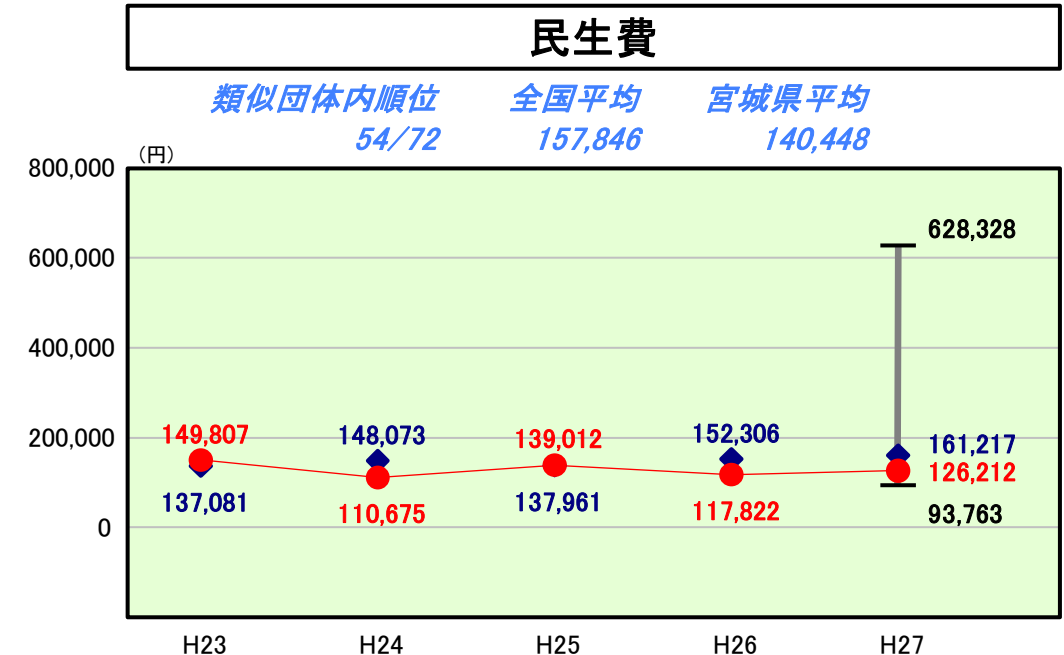
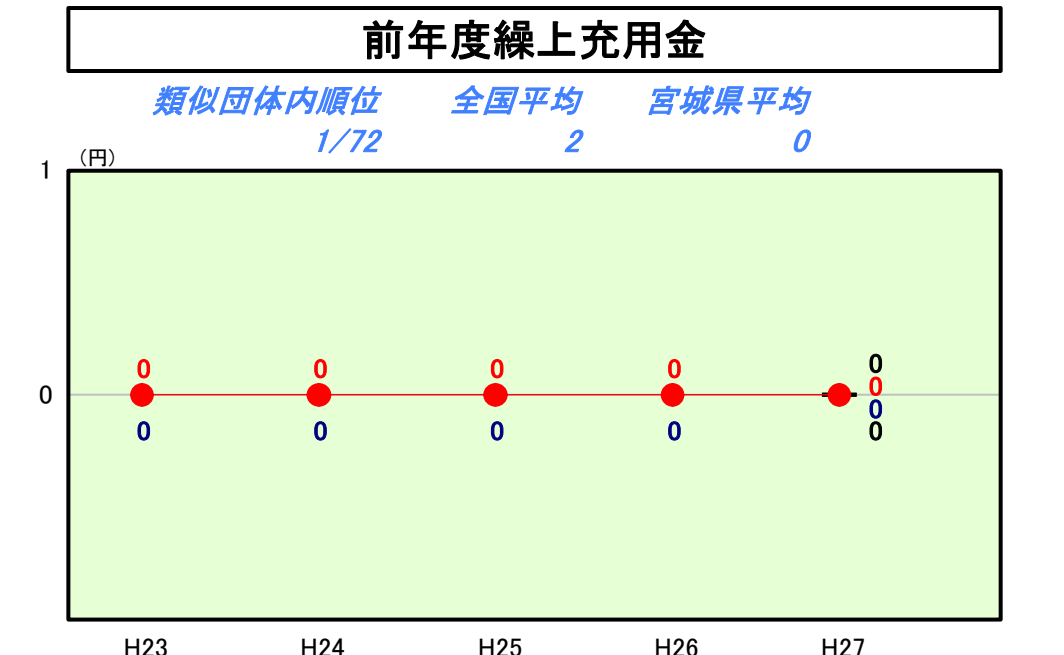
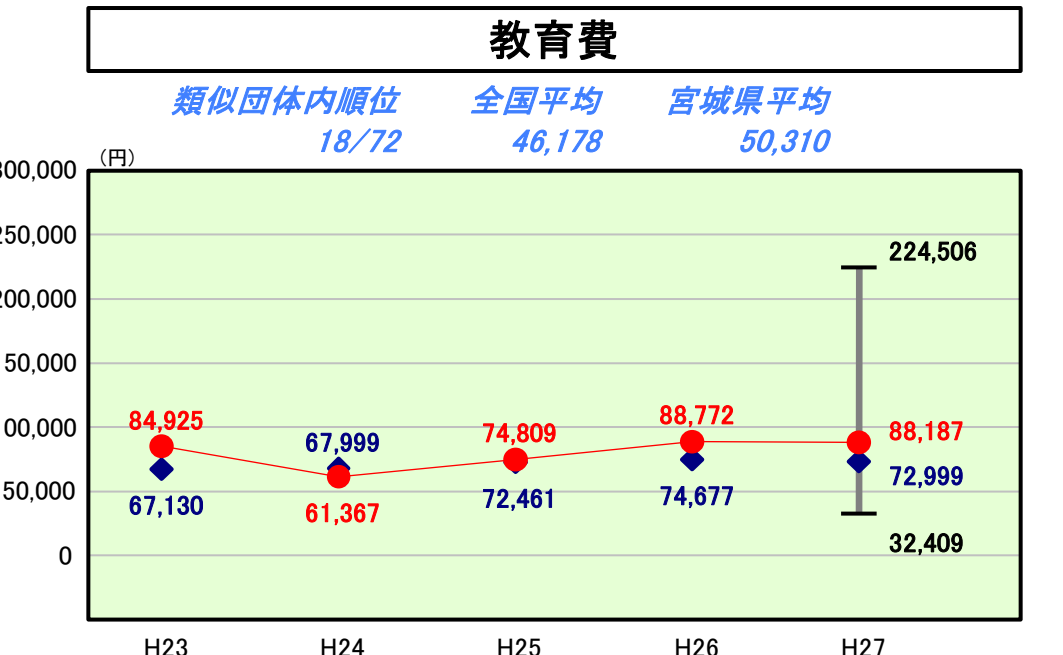
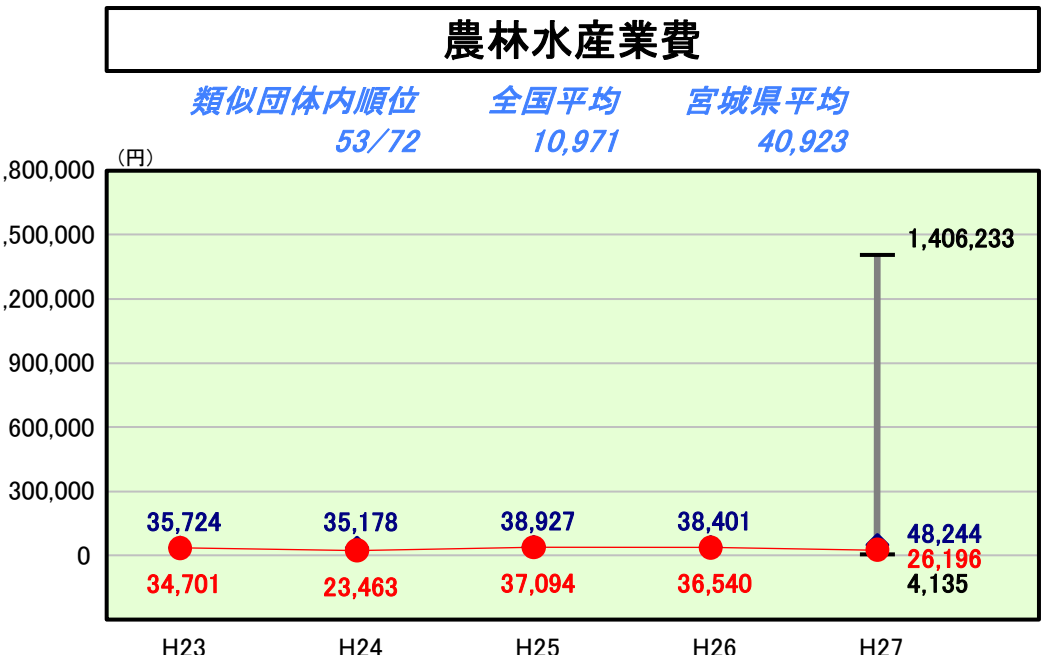
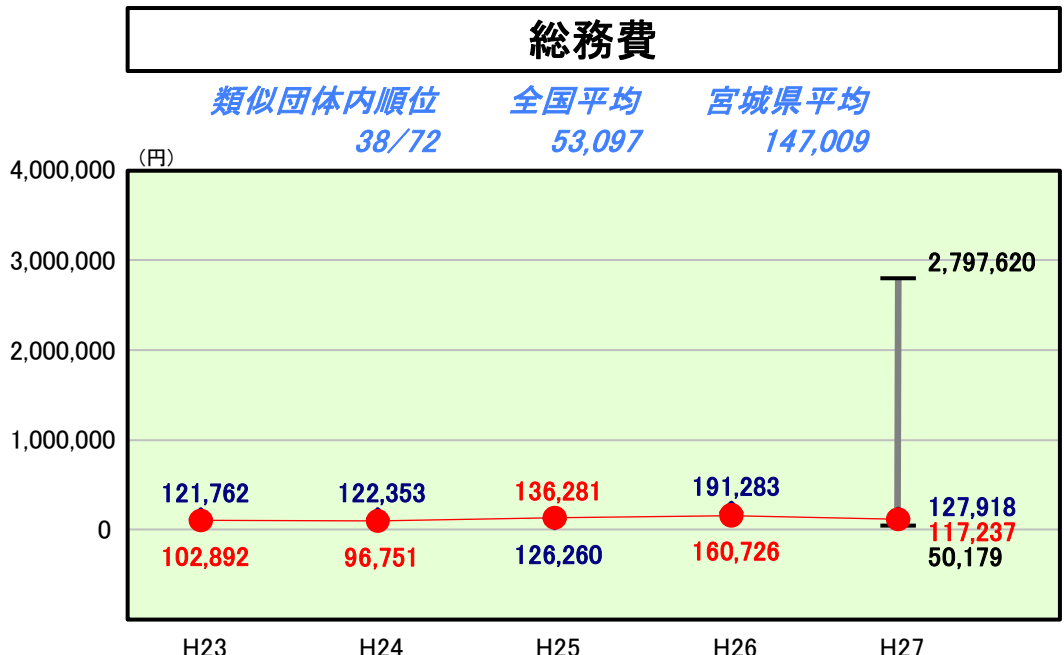
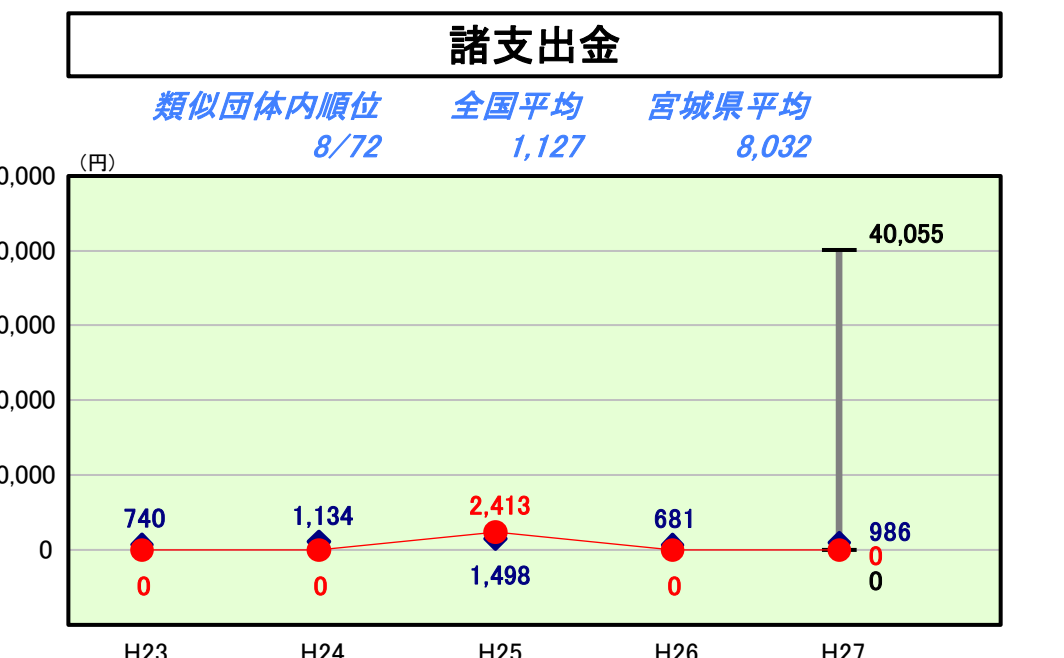
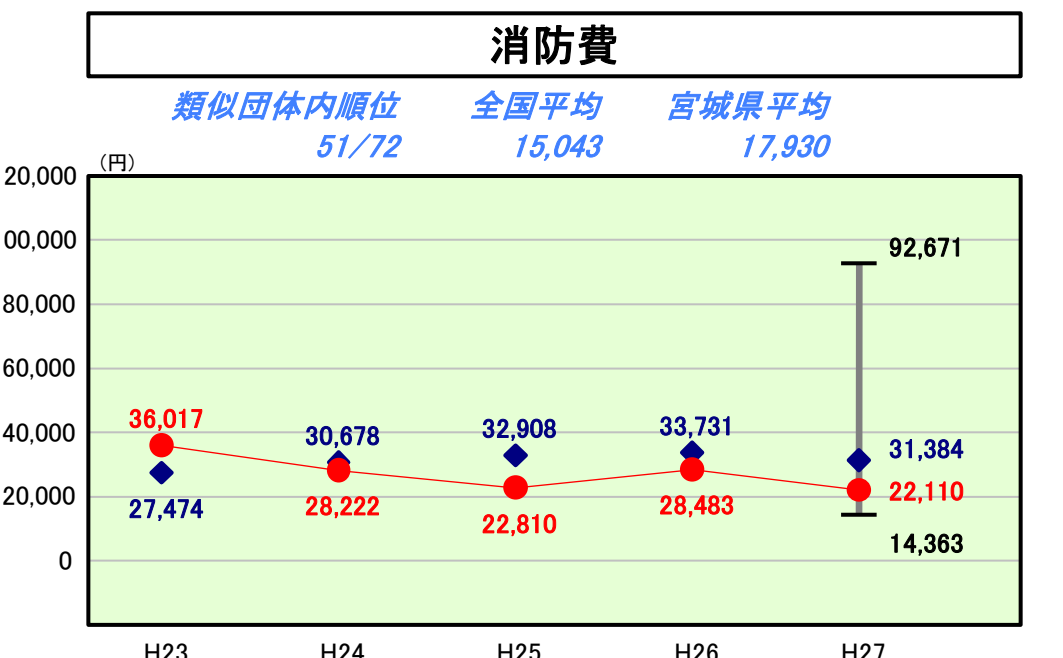
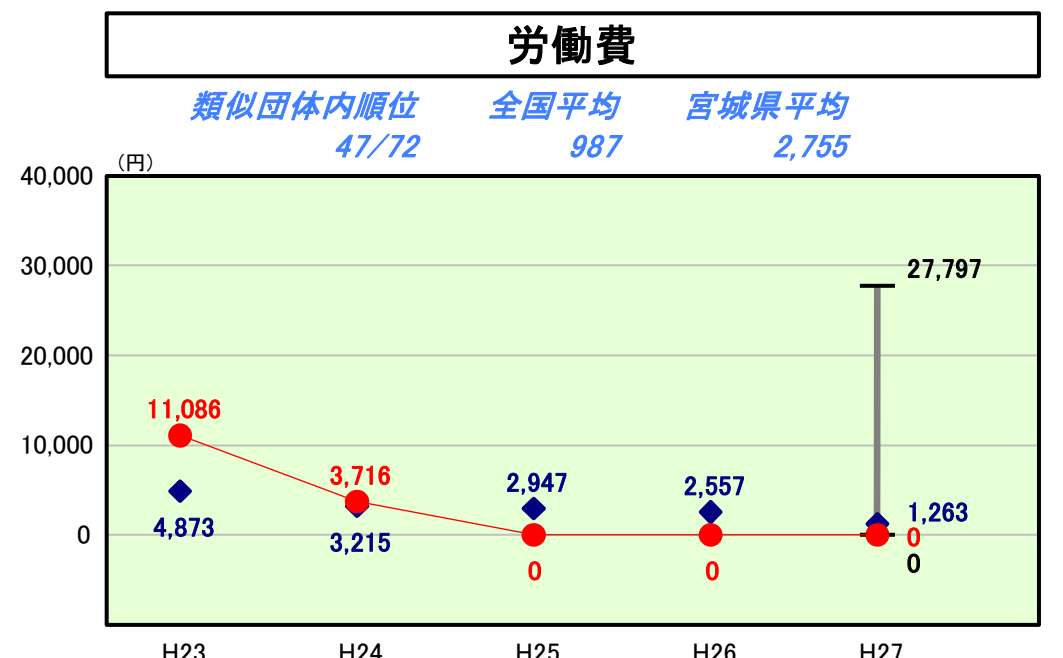
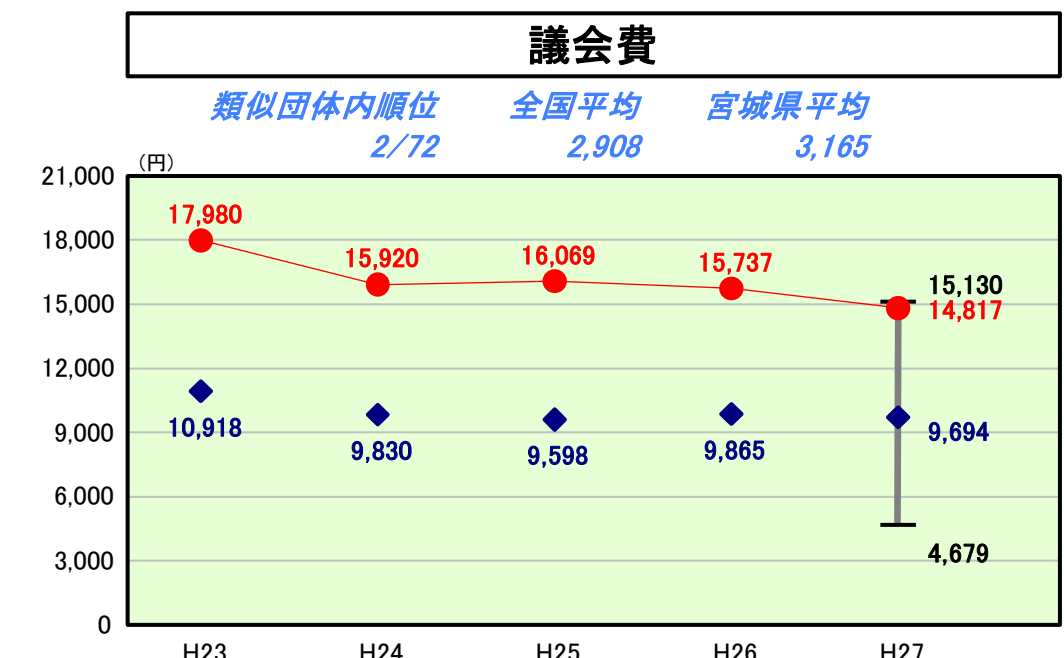
平成27年度

宮城県大衡村

人口	5,838人	(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	5,781人	(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	60.32km <sup>2</sup>		実質公債費比率	9.5%
歳入総額	4,587,527千円		将来負担比率	-%
歳出総額	4,338,691千円		市町村類型	H23 II-2 H24 II-2 H25 II-2
実質収支	135,372千円		(年度毎)	H26 II-2 H27 II-1
標準財政規模	2,444,674千円			
地方債現在高	3,440,148千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析欄**  
 総務費は住民一人当たり117,237円で前年度比で26.2%の減となっているが、26年度は無線放送施設整備事業(313,344千円)があったため大きく減少となったが、防衛省補助金を基金化するための積立金(132,745千円)が大きくコスト的には全国平均の約2倍となっている。民生費は住民一人当たり126,212円となっている。社会保障経費の増加もあるが、児童福祉行政に要する経費である児童福祉費が大きいことが大きな要因の一つとなっている。民設民営の認定こども園への委託費や子育て支援事業として、認定こども園に保護者が負担する負担金の一部を村で助成したり、満18歳までの医療費無償化など、本村独自の事業が多く、必然的にコストが増大している。商工費は住民一人当たり32,237円で類似団体平均の約1.5倍となっているが、こちらも本村独自の企業立地奨励金やプレミアム付商品券の発行事業があったため増加した。土木費は住民一人当たり157,604円となっている。既存道路の改良舗装事業の継続事業に加え、公園施設や公営住宅、定住促進住宅の長寿命化事業が始まったことで前年度よりも増となっている。今後も公共施設等総合管理計画に基づきながら進めていく長寿命化事業が計画されているところであり、土木費は増加していくものと見込んでいる。教育費は住民一人当たり88,187円となっている。本村に1校ずつある小中学校への太陽光発電設備の設置事業や人口増加に伴う新たな集会所建築事業があり、全国平均並びに県平均、類似団体平均よりも増となっている。

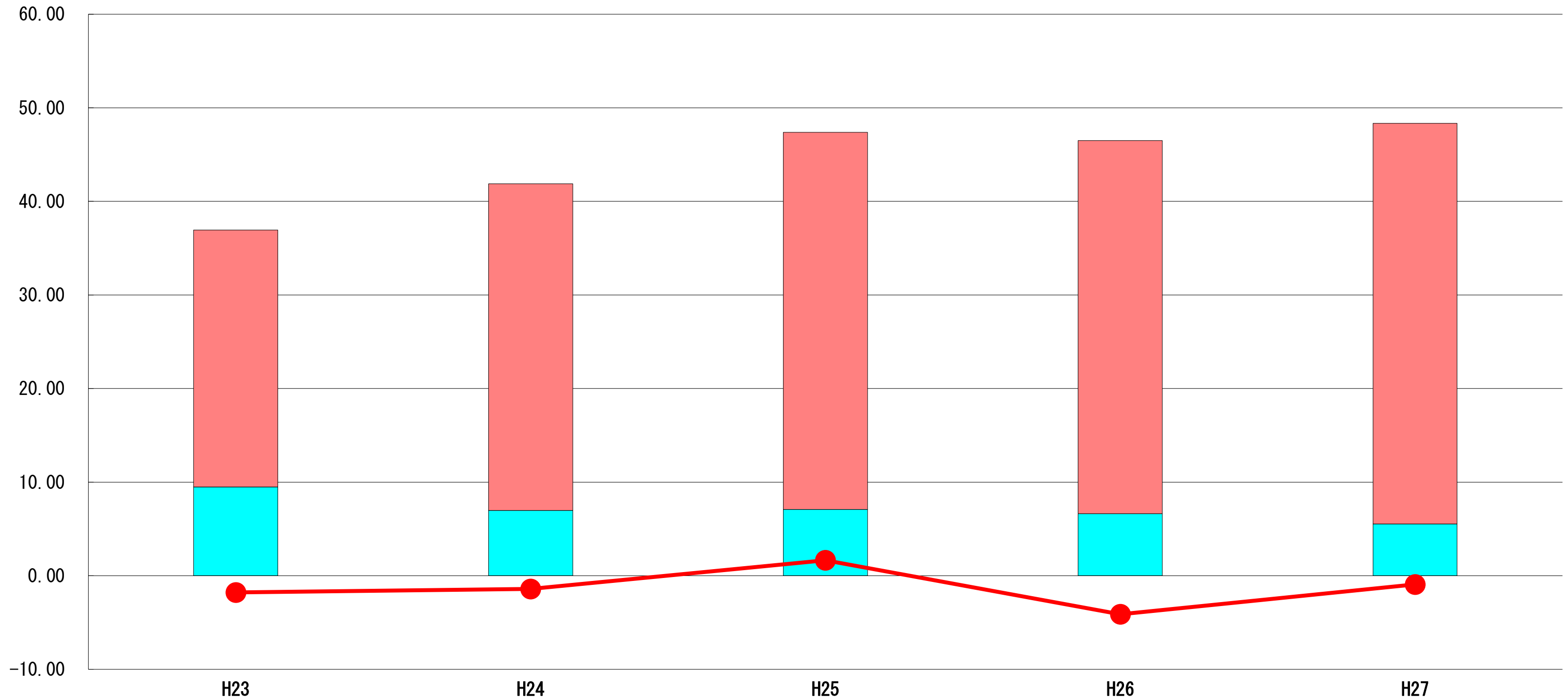


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成27年度

宮城県大衡村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
 財政調整基金残高		27.45	34.88	40.29	39.89	42.80
 実質収支額		9.49	6.99	7.09	6.62	5.54
 実質単年度収支		▲ 1.79	▲ 1.42	1.65	▲ 4.12	▲ 0.92

## 分析欄

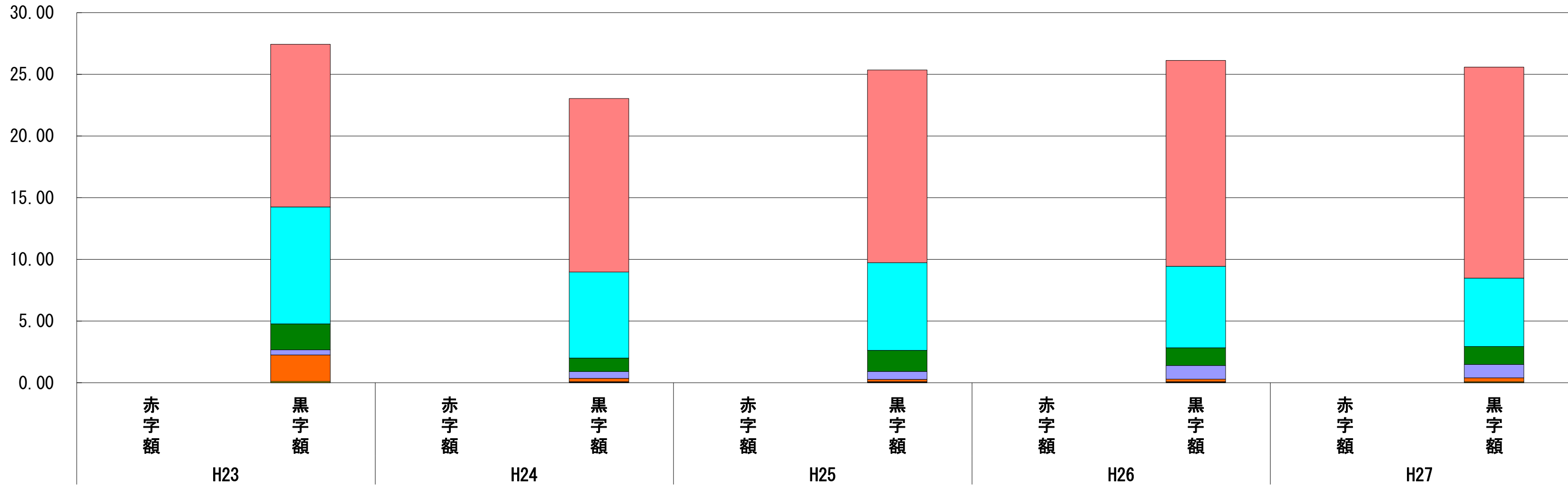
財政調整基金残高については、27年度は30,000千円取り崩したが、東日本大震災時に本村独自に村民に無利子で貸し付けた際の原資が当該基金であり、その償還分を積み立てた結果、約4割を確保し、毎年残高も増加しているところであり、依然として健全エリアの範囲内となっている。実質収支は依然健全エリアの範囲内で、収支バランスを常に精査しながら行財政運営に努めてきた結果であり、経営は良好であると考えている。実質単年度収支はマイナスとなったが、前年度より改善されているところである。今後は公共施設等総合管理計画に基づき各種長寿命化事業が計画されているところであり、財政需要が増加するものと見込んでいる。必要な経費には基金を充てながらも、その他の財源を確保しつつ、基金取崩しの抑制に努めていきたいと考えている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

宮城県大衡村

標準財政規模比（%）



会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
水道事業会計		13.18	14.06	15.62	16.69	17.10
一般会計		9.48	6.98	7.09	6.61	5.53
国民健康保険事業勘定特別会計		2.10	1.07	1.72	1.42	1.47
介護保険事業勘定特別会計		0.43	0.58	0.64	1.11	1.08
下水道事業特別会計		2.14	0.27	0.20	0.22	0.31
戸別合併処理浄化槽特別会計		0.09	0.04	0.04	0.04	0.06
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.04	0.04	0.04	0.03
宅地造成事業特別会計		-	-	-	-	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

全会計が黒字を達成しており、健全な財政運営を行っているところである。  
 水道事業会計については上水道使用料の需要が高い企業進出の増加により水道使用料が大幅に増加している反面、大規模な普通建設事業が近年実施されていないことから、黒字幅が大きくなり比率が高くなっている。しかし、今後アセットマネジメントの事業計画に基づき水道管の更新時期を順次迎えていくこととなるため、歳出が膨らんでいくものと見込んでいる。  
 下水道事業会計については自動車関連企業や太陽光パネル製造工場の進出等により使用料は増加したが、建設投資により発行した起債償還費が依然大きく、一般会計からの繰入金に依存している状態で黒字幅は近年ほぼ横ばい状態が続いている。  
 国保会計については、歳入で保険税が伸びているものの、歳出でも保険給付費や共同事業拠出金等が増加しており、財源確保のため財政調整基金を毎年取り崩しているところであり、黒字幅は前年度とほぼ横ばいとなっている。  
 新たに27年度より宅地造成事業会計が追加されたが、黒字額は少額となっている。その他の会計についてはほぼ例年どおりとなっている。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

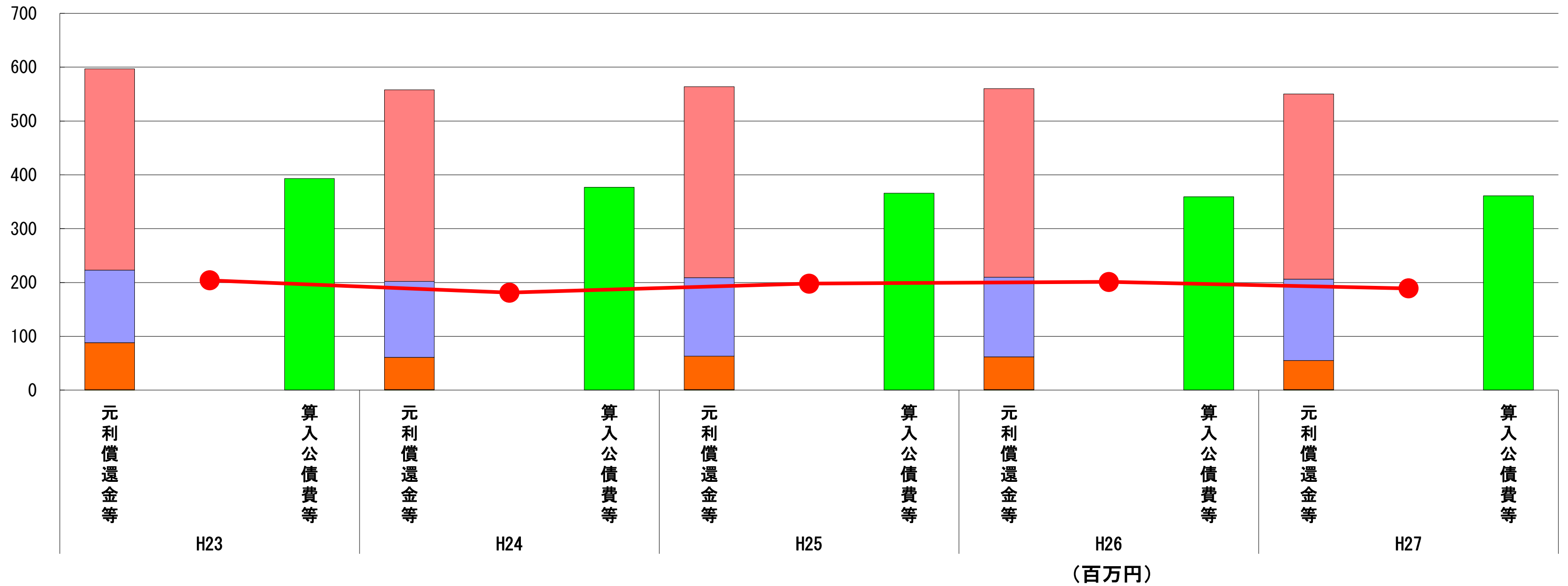


# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

宮城県大衡村

(百万円)



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		374	356	355	350	344
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		135	141	146	148	151
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		87	60	62	61	54
	債務負担行為に基づく支出額		1	1	1	1	1
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		393	377	366	359	361
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		204	181	198	201	189

**分析欄**

企業誘致や定住促進策の推進で普通建設事業に係る投資的経費は大きいですが、防衛補助事業や社会資本整備総合交付金事業等補助割合の高い補助事業を活用し、起債の発行を極力抑制していることから、償還金は年々減少傾向にある。しかし、今後は発行額が大きい臨時財政対策債や、償還期限が短い辺地対策事業債の償還が毎年発生してくるところであり、起債償還額が増加するものと見込んでいる。

公営企業債の元利償還金に対する繰入金については、下水道会計と浄化槽会計が毎年起債を発行しないと賄えない状況であり、さらに、宅地分譲するまで財源がない宅地造成事業会計の繰入金もあり元利償還金は増大するものと見込んでいる。

一部事務組合等が起こした地方債に充てるための負担金は、現在建設中のごみ処理施設整備事業に係る負担金が増大する予定であり、この負担金も増加するものと見込んでいる。

総体的には実質公債費比率が高くなる要素が強いため、起債発行に際しては内容を吟味した上で必要最小限の発行にとどめるよう努めていきたいと考えている。

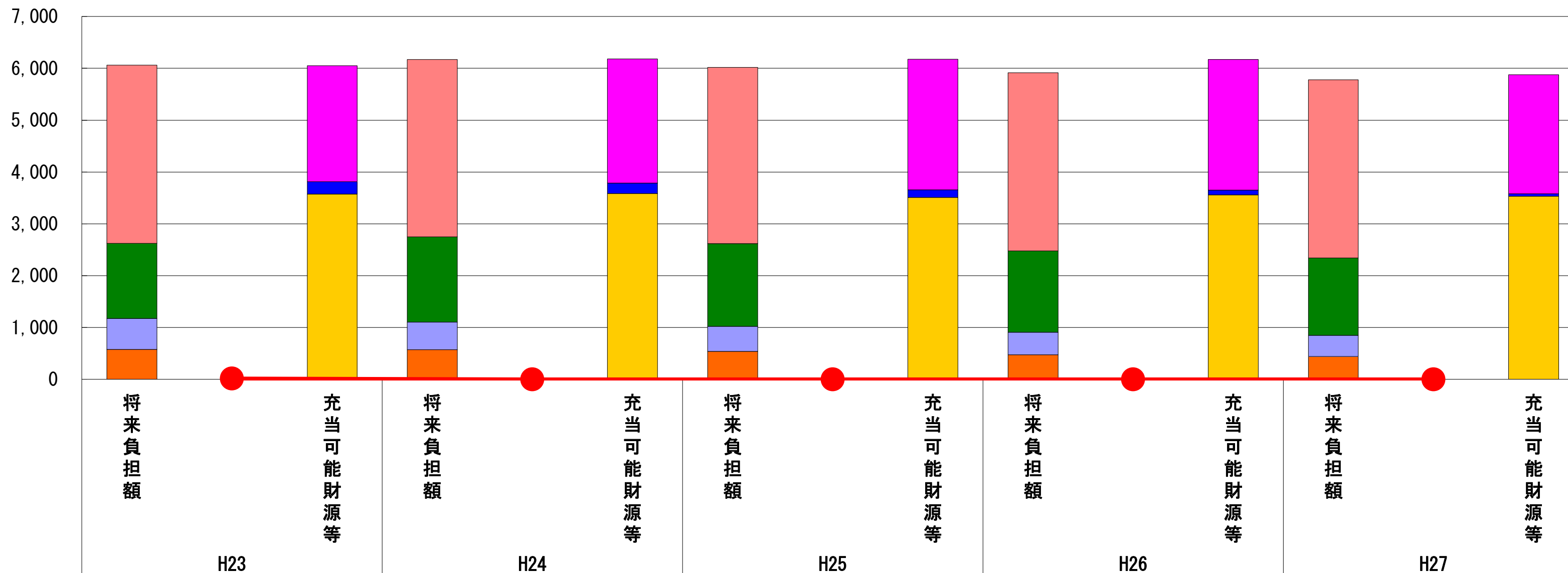
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

宮城県大衡村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,436	3,421	3,399	3,438	3,440
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		1,453	1,647	1,598	1,568	1,492
	組合等負担等見込額		593	532	484	434	408
	退職手当負担見込額		580	572	539	477	440
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,233	2,390	2,520	2,518	2,299
	充当可能特定歳入		239	205	150	93	47
	基準財政需要額算入見込額		3,577	3,584	3,508	3,559	3,531
(A) - (B)	将来負担比率の分子		13	▲ 8	▲ 159	▲ 253	▲ 98

**分析欄**

地方債の新規発行は極力抑制してきた結果、将来負担比率は依然マイナスであるが、地方債現在高は近年約34億円前後で推移しているところである。

前年度と比較すると、将来負担額は136,770千円減少したものの、充当可能財源も292,234千円減少したため将来負担比率は7.7%圧縮されたが、27年度においても△4.6%で将来負担比率は生じなかった。

将来負担額について、公営企業債等繰入見込額は前年度比で75,856千円減少したが、今後、上下水道会計や浄化槽会計に加え宅地造成事業会計に係る起債償還も始まる予定であり、さらに増加していくものと見込んでいる。

退職手当組合への負担見込み額は前年度比で36,850千円減少した。

今後も各種事業内容を精査していきながら、極力起債発行額の抑制に努めていきたいと考えている。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。